

## 研究の分類・属性

「TR／早期開発」

## 研究の概要

### 【研究の背景、目的、必要性】

近年のコンピュータや機械技術進歩は、外科領域における機器開発や低侵襲手術への応用が期待されている。本邦の外科技術は世界有数のレベルにあるものの、革新的機器開発や手術手技は海外より後れをとっている現状がある。その背景として、現状の医療機器開発が真の臨床のニーズを反映していない、開発が散発的で次世代の外科手術を変革するシステムとしての開発に及んでいない、医療機器の治験、早期開発試験体制、製品化に向けたガイドラインが整備されていないなどが挙げられる。

本研究では高度な臨床技術をもつ外科医と基礎技術をもつアカデミアとの連携により、外科早期臨床開発グループを整備するとともに、今後取り組むべき次世代医療機器を的確に選別するための「新世代医療機器開発会議NEXT」を設立する。現状までにNCCが進めてきた近赤外腹腔鏡手術機器、助手型ロボットアーム機器、腹腔内クリップ・マグネット、経腸ルートからの内視鏡下手術などの開発を継続し、これらを応用した新たな手術手技を開発する。また革新的手術機器の迅速な製品化に向けた治験・早期臨床試験の支援体制を整備し、臨床応用実現に向けた臨床試験を実行する。

### 【研究計画・方法】

#### 1. 新世代医療技術開発会議(NEXT)の設立

次世代に目指すべき外科治療のニーズと本邦の高度な技術シーズをもつ外科医とアカデミア研究者を構成員とする開発会議(NEXT)を設立する。現在までに本邦で開発された医療機器開発プロジェクトの問題点を把握し、次世代外科治療に必要とされる機器開発プランを決定する。

#### 2. 革新的医療機器および手術手技の開発

医療機器のリスクレベルや開発難度に応じて分け、開発を別途実行する。

①LEVEL I：現在すでにNCCが開発に着手し、臨床応用に近い機器開発で、おもに改良機器開発やすでに企業が開発に参入している機器を対象とし、製品化および臨床試験完了までを3年以内に終了する。

②LEVEL II：将来の外科治療を変革しうる新規性の高い開発であり、臨床ニーズと技術シーズとのマッチングを要する機器開発で、企業の積極的な参入や治験を要する開発を念頭に置く。将来的に競争的資金の獲得を目指す。

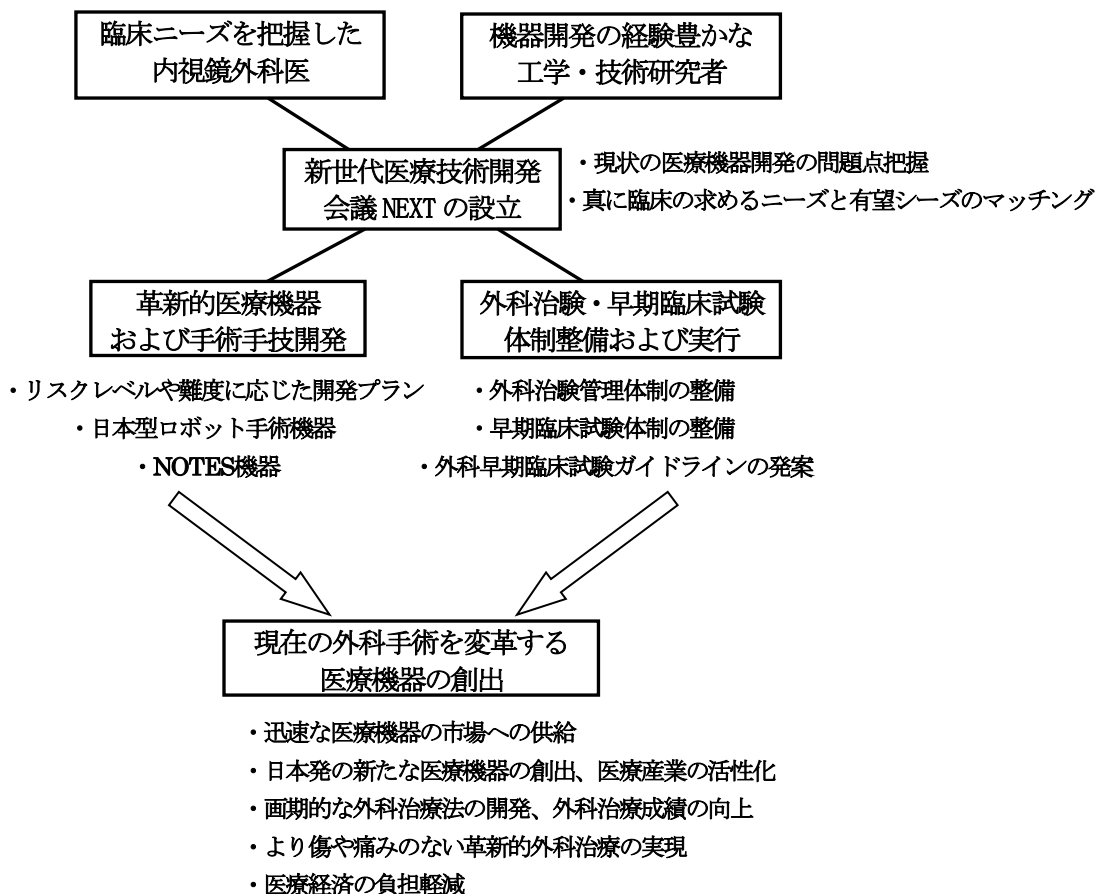
#### 3. 外科治験および早期臨床試験体制の基盤整備

国立がん研究センター東病院臨床開発センター内に革新的医療機器開発に関する外科治験および早期臨床試験体制を整備するとともに、特にFirst-in-humanの外科医療機器開発治験に関する院内指針を作成する。

### 【期待される成果】

本研究は、迅速な手術関連医療機器の市場への供給、日本発の新たな医療機器の創出およびそれらを用いた画期的な外科治療法の開発、外科治療成績の向上、傷や痛みのないやさしい外科治療の実現、医療経済の負担軽減などの成果が期待できる。

(流れ図)



平成 27 年度研究経費

9,870 千円

研究班の組織

第3年次

研究者名	所属研究機関名・職名	分担する研究課題名・項目
伊藤雅昭	国立がん研究センター東病院 大腸外科 科長	消化器外科手術における革新的医療機器、手術手技の開発及び研究統括
中島清一	大阪大学国際医工情報センター 次世代内視鏡治療学共同研究部門 特任教授	革新的内視鏡下手術デバイス開発および革新的内視鏡治療の術式開発とその臨床導入
大平 猛	九州大学先端医療イノベーションセンター 特任教授	革新的手術機器と手術手技に関する外科早期臨床開発体制の整備・革新的内視鏡下手術デバイスの開発

木下 敬弘	国立がん研究センター東病院 胃外科 科長	消化器外科手術における革新的医療機器、手術手技の開発
大幸 宏幸	国立がん研究センター東病院 食道外科 科長	消化器外科手術における革新的医療機器、手術手技の開発
西澤 祐吏	国立がん研究センター東病院 大腸外科 医員	直腸がん手術後の肛門括約筋障害を補てんする再生治療の研究
小林英津子	東京大学大学院工学系研究科 准教授	革新的手術支援用デバイスおよびナビゲーションシステム開発
曾我 公平	東京理科大学基礎工学部 材料工学科 教授	革新的医療光学デバイスの開発
森 健策	名古屋大学 情報連携統括本部・情報戦略室・教授	革新的手術機器と手術手技を支える高度医用画像処理技術の開発
横田 秀夫	理化学研究所・光量子工学研究領域・画像情報処理研究チーム・チームリーダー	先進的医用イメージング・画像処理とシミュレーションシステム開発
中村 亮一	千葉大学フロンティア医工学センター 准教授	先進的ナビゲーション誘導下ロボット手術システム及び治療工程分析評価システム開発
青 志津男	国立がん研究センター研究支援センター 研究管理部	医療機器開発における産学連携体制の整備
佐藤 暁洋	国立がん研究センター 研究支援センター研究企画部部長	革新的医療機器の外科治験体制整備
河合 俊和	大阪工業大学・工学部・ロボット工学科・准教授	革新的手術支援用デバイスの開発
川平 洋	フロンティア医工学センター 研究開発部	革新的内視鏡下手術デバイス開発および革新的内視鏡治療の術式開発とその臨床導入
竹村 裕	東京理科大学理工学部 機械工学科 准教授	革新的手術支援用デバイスの開発
後藤田 直人	国立がん研究センター東病院 肝胆膵外科 外来医長	消化器外科手術における革新的医療機器、手術手技の開発

## 全期間

### (目的と到達目標)

近年のコンピュータや機械技術進歩は、外科領域における機器開発や低侵襲手術を進めてきた。とりわけ本邦の外科技術は世界有数のレベルにあるものの、革新的機器や手術手技の開発は海外より後れをとっている。その背景として、現状の医療機器開発が真の臨床のニーズを反映していない、開発が散発的で次世代の外科手術を変革するシステムとしての開発に及んでいない、医療機器の治験、早期開発試験体制、製品化に向けたガイドラインが整備されていないなどが挙げられる。

本研究では高度な臨床技術をもつ外科医と基礎技術をもつアカデミアとの連携により、外科早期臨床開発グループを整備し、今後取り組むべき次世代医療機器を的確に選別するための「新世代医療機器開発会議 NEXT」を設立する。本研究の目的として、①NEXTにおいて、本邦における今までの革新的医療機器開発および手術手技開発の経緯や問題点を明らかにしたうえで、臨床現場が真に必要なとすか多領域において応用可能な医療機器開発を選別し、このグループにおいて個別の開発計画を立てる。開発されるべき革新的医療機器はその開発の難易度に応じてレベル分類し、的確な開発スキームを構築する。具体的には現状までにNCCが進めてきた近赤外腹腔鏡手術機器、助手型ロボットアーム機器、腹腔内クリップ・マグネット、経腸ルートからの内視鏡下手術などの開発を継続するとともに、新たな発想に基づいた革新的医療機器の開発に着手する。②開発された革新的医療機器を実際の臨床現場で応用し、新たな手術手技を開発する。③革新的手術機器の迅速な製品化に向けた治験・早期臨床試験の支援体制を整備し、臨床応用実現に向けた臨床試験を実行する、ということを挙げる。

本研究3年間にわたる到達目標は、①医工専門家集団における革新的医療機器開発の議論の場となるNEXT会議を定期的に開催し、継続的に開発計画を行うための医工連携チームを確立させる。②現在すでにNCCが開発に着手し臨床応用に近い機器開発で、おもに改良機器やすでに企業が開発に参入している機器の開発（LEVEL I 開発）を対象とし、製品化および臨床試験を完了させる。③将来の外科治療を変革しうる新規性の高い開発であり、企業の積極的な参入や治験を要するより革新的開発（LEVEL II 開発）に関しては、NEXT会議で臨床ニーズと技術シーズとのマッチングを議論し、開発プランを選定する。個別の医療機器開発について必要とされる企業や医師、アカデミアらによる開発グループを創設し、他の競争的資金の獲得を目指す。④外科的医療機器開発の拠点として国立がん研究センター東病院および臨床開発センター内に革新的医療機器開発に関する外科治験および早期臨床試験の支援体制を整備し、革新的医療機器開発のロードマップを策定する。

### (第3年次評価時点の実績要点)

本研究では、この3年間にわたり医工専門家集団によるNEXT会議が定期開催され、安全性レベルや開発工程などがそれぞれ異なる医療機器において適切な開発スキーム適応してきた。日本における医療機器開発体制はいまだ成熟されたものではないが、本研究班により整備された医療機器ごとの開発方法について以下に示す。

①手術機器のうち現場のニーズを迅速に反映し、企業との直接的な結びつきより開発が進む案件がある。多くは医療周辺機器やclass I 医療機器がこれに該当する。このような医療機器に対しては、当研究により構築された地域開発コンソーシアム（C-Square）の整備が進み、迅速なニーズ発案から開発に至る医師・企業連携スキームが確立された。それぞれの開発案件については千葉県産学連携部門や国立がん研究センターの開発コーディネーターが仲介し、医師と企業との連携を行える体制になった。開発補助金についても千葉県からの予算化が進み、本研究班から出されたニーズに対する研究開発がしやすい環境が整備された。

②class II 以上の医療機器開発については、製販企業やアカデミアを含めた開発連携が基盤となり開発期間が長期にわたることが多い。本研究グループからも具体的案件開発が進み、肛門ドレーンや人工筋肉を利用した鉗子などの製品化が来年度に予定されるに至った。とくにこの2案件については市販後有効性を評価する臨床試験を行うために外科的試験グループを整備する予定である。

③革新的な発案に基づき「本邦発のロボット手術機器」開発に向けたベンチャー企業を立ち上げ、これが国立がん研究センター発ベンチャーとして認定された。すでにベンチャーキャピタルからの資本計画決まり投資が完了した。

④院内体制整備として、外科的治験を経験しながらその体制を整備してきた。医療機器開発に関する教育・啓蒙活動としてMIS meetingを開催してきた。

## 第3年次

### (到達目標)

- 1 NEXT 会議を3か月ごとに開催する。
- 2 本研究班の LEVEL I 機器開発としての製品化を実現する案件を1例以上つくる。
- 3 薬事法にて許認可された医療機器に対する、主に有効性を評価するための臨床試験を1案件以上計画し、試験プロトコルを作製する。
- 4 全国規模の外科研究グループを基盤として、本研究班で計画された早期臨床試験を実行する。
- 5 LEVEL II 機器開発に関しては、前年度に引き続き NEXT 会議での議論を継続し、企業選別、開発グループの選定を行い、知財を確保する。さらに本研究開発を施行しうるレベルの競争的資金の獲得申請を行う。
- 6 MIS 会議を2か月ごとに開催する。
- 7 革新的医療機器開発に関する外科治験および早期臨床試験の支援体制の整備強化を行う。外科専門治験コーディネーター、データマネージャー、さらに医師と工学研究者をつなぐ開発コーディネーターの育成を前年度に引き続き行う。
- 8 国立がん研究センター東病院を中心とし、千葉大学、千葉県、地域産業振興センター(東葛テクノプラザ)が一体となり昨年度発足させた地域開発コンソーシアム(C-Square)に関連する2回目のシンポジウムを開催する。これにより地域企業と協調した医療機器開発の成功例を1案件以上つくる。

### (年次評価時点の実績要点)

- 1 平成27年1月、4月、7月、10月と新世代医療機器開発会議：(以下、NEXT 会議)を開催し、平成28年2月に次回会議開催本研究班3年間の研究成果について総括するとともに今後の班研究の継続性について議論する予定である。医工専門家集団の議論の場としての本会議は予定通りに開催された。本年度の研究成果により具体的開発案件が新たに3つ選定され、すべての案件において開発グループや企業の選定を行った。開発コアグループ(コネクスト)による新規医療機器開発のための会議が月に1-2回の頻度で行われた。
- 2 NEXT 会議にて新規開発案件として3つが加えられ、すべてについて企業選定が終わり共同研究契約締結手続きを行っている。
- 3 昨年度からの開発案件として、Class I と見込まれる医療機器開発(LEVEL I 機器開発)として比較的短期に開発終了を目指してきた4つについては、1案件において特許出願完了、2案件が製品として完成し上市した。
- 4 昨年度からの開発案件として、Class II 以上と見込まれる医療機器開発として(LEVEL II 機器開発)として、具体的に4案件を進めてきたが、全案件で特許出願完了、うち1件については早期審査請求を終えた。1件について競争的資金を獲得し(穿刺システム)、2件において来年度上市予定まで開発が進捗した(肛門ドレインおよび人工筋肉鉗子)。
- 5 当班より開発された「肛門ドレイン」については試験プロトコルを作成し、有効性を評価する臨床試験を来年度より施行する。現在この臨床試験参加する外科研究グループを整備している。
- 6 治験や臨床試験に関するセミナー(MIS 会議)を国立がん研究センター東病院にて本年度3回開催し、外科医を中心に医療機器開発の教育、啓発活動を行った。
- 7 国立がん研究センター東病院および臨床開発センター内に整備された外科治験および早期臨床試験の支援体制の下で2件の外科的医療機器の治験を終了した。

- 8 本研究班内に医師と工学研究者をつなぐ3人の開発コーディネーターとともに、すべての開発案件に対するマネジメントのための会議（ネクスト運営会議）を月に2回の頻度で継続的に行った。
- 9 昨年度より発足させた国立がん研究センター東病院を中心とし、千葉大学、千葉県、地域産業振興センター（東葛テクノプラザ）が一体となり主導する地域開発コンソーシアム（C-Square）を母体としたシンポジウムを本年度は3回行い、地域企業とのニーズ・シーズマッチングが精力的に行われいくつかの開発案件が進んでいる。さらに本年度より今取り組みが評価され、千葉県からの予算化がなされた。この地域開発コンソーシアムから出された2つの案件が製品化し、上市した。
- 10 当班の研究開発よりスピニアウトした「新しいロボット手術機器をつくる」ためのベンチャー企業 A-Traction を設立し、国立がん研究センター認定ベンチャー企業として認定された。

## 研究成果と考察

### 第3年次評価時点

#### 本研究開発体制(NEXT 会議)の整備・強化：

昨年度までの同様に定期的な NEXT において本研究課題から出された医療機器開発について様々な視点からの議論がなされた。また、1月に2回の頻度で運営会議が開催された。本年度はさらに1人医療機器開発のコーディネーターが加わり、すべての開発案件の進捗状況の確認や知財、薬事などの相談を行いながら、本研究班における医療機器開発の体制整備及び強化を図ることにより効率的な開発が進められた。

#### 具体的な開発案件の決定と開発グループおよび企業の選定：

昨年度までの開発案件は順調に開発が進んでいる。これらに加えさらに新しい案件も加わった。LEVEL I 開発(Class I または薬事不要の開発)と LEVELII 開発(Class II 以上の開発)の進捗について以下にまとめる。

#### LEVEL I 開発：

##### ①人間工学に基づいた手術姿勢補助機器

NCC、千葉大学およびK社により、長時間手術における下肢疲労を軽減させる目的で新たな概念に基づく手術姿勢補助装置を開発、した。昨年度の特許出願に加え本年度は意匠登録が完了した。平成27年4Qに製品が完成し、上市した。千葉大学との共同研究にて、本研究開発により手術中の疲労がいかに軽減されるかを評価するための臨床研究を行っている。

##### ②手術トレーニング用縫合糸の開発

NCC、千葉大学、T社との共同開発による内視鏡下手術トレーニングに特化した縫合糸の開発を進めている。研究開発に関する千葉県からの助成金を獲得し、本年度上市した。

##### ③新規内視鏡手術シミュレーターの開発

昨年度 NCC と Y 社による共同研究契約を締結した。本年度競争的資金獲得には至らなかったが、Y社の有する特許技術を基盤として腹腔鏡下大腸切除に特化した内視鏡手術シミュレーターの開発を進めている。来年度の上市を目標とする。

##### ④新たな概念に基づく多関節型内視鏡手術鉗子の開発

NCC と A 社において進められる開発案件である。本研究開発は当初の予定を変更し、以下に示す泌尿器科の経尿道手術システムの一部として、そのシステムで用いる鉗子として開発を進めていく。

##### ⑤硬膜外穿刺専用姿勢補助装具の開発（新案件）

NCC と T 社による共同研究契約締結中である。本研究開発は千葉県地域連携コンソーシアム C-Square で企画された我々のニーズ発信から企業側のシーズがマッチされた案件である。

#### LEVELII 開発：

##### ①内視鏡下手術における内視鏡保持の役割を代行するロボットの開発

NCC、東京大学およびS社との共同研究契約が締結され、そのプロトタイプ作製を終え、動物実験による評価を行った。昨年度特許出願は完了した。現在プロトタイプ製作中であり、平成28年度の上市を目指す開発スケジュールに変化はない。

##### ②人工肛門の役割を代行する医療機器の開発

NCC、神戸製鋼病院、M社、S社との共同研究契約が締結され、開発品の最終仕様が確定し、現在日臨床安全性試験を行っている。昨年度出願した特許は、早期審査請求した。平成28年度の2Q上市を目指す開発スケジュールを進めている。本研究開発は、直腸がん治療において臨床ニーズの高いものであり、市販後に本開発品の有効性評価のための

臨床試験を行う準備を進めている。

### ③穿刺による新規治療システムの開発

NCC、東京理科大学、理研とのアカデミア同士による共同研究による開発案件である。穿刺技術と焼却技術に分かれた基盤研究を進めている。本年度競争的資金を獲得し、来年度も開発継続予定である。本年度特許出願は完了した。

### ④新たな機構に基づく手術鉗子の開発

NCC、N社との共同開発により進められた開発案件である。すでにプロトタイプによる動物実験を終え、製品化に近い段階にある。鉗子操作部分の改良に時間を要し、平成27年度上市予定は遅れており、来年度上市スケジュールに修正した。本研究開発品は、安全性と有効性を評価するための臨床研究を並行して行う準備を進めている。

### ⑤経尿道手術システム（新案件）

泌尿器科における経尿道的腫瘍切除術における現状の技術的制約を改善するためのニーズ発信から具体的に開発が開始された。細径の多関節のて構成される鉗子と電気メスおよびそれを操作する一体型手術システムの開発である。現在NCC、東京大学および近郊企業との共同研究契約を進めている。

### ⑥術中ガーゼカウンター

NCC、千葉大学およびT社の共同研究締結中である。臨床の現場で時に問題となる術中のガーゼカウント不備を解消するための医療機器開発を進めている。

### NCC 認定ベンチャー企業設立と革新的ロボット手術機器の開発

本邦発の手術ロボット開発に向け、産業革新機構系のベンチャーキャピタルからの出資を得て、ベンチャー企業 A-Traction を平成27年8月に設立した。その後NCCとA-Tractionとの共同研究契約を締結するとともに、同社はNCCベンチャーとして認定され、革新的ロボット手術機器の開発を進めている。

### 外科治験および早期臨床試験体制の基盤整備

国立がん研究センター東病院および臨床開発センター内に整備された外科治験および早期臨床試験の支援体制の下で2件の外科的医療機器の治験については本年度終了した。合計26例の治験症例を登録の中で院内の外科的医療機器に関する臨床試験支援体制が強化された。また、国立がん研究センターにおける胃がんおよび直腸がんを対象としたロボット手術に関する臨床試験を開始し、胃がんについては登録終了し、直腸がんについては登録中である。

### 地域開発コンソーシアム C-square の活動

昨年度より発足した国立がん研究センター東病院を中心とし、千葉大学、千葉県、地域産業振興センター（東葛テクノプラザ）が一体となり主導する地域開発コンソーシアム(C-square)はその活動内容を拡大した。

昨年に引き続き第2回C-Squareシンポジウムを開催し、地域企業を中心に約200名の参加を得て、多くの地域企業との医療機器開発のマッチングが進んだ。本年度はさらに千葉大学フロンティア医工学センターとの合同シンポジウム、第1回ちば医工連携合同シンポジウムが開催された。本年度は本開発コンソーシアムに対して千葉県からの予算化がなされ、12月には医療機器開発に向けたパッケージ型支援プログラムが開始されNCCの医師・看護師、MEなどの臨床ニーズの提示および企業のプロトタイプ作製マッチングが行われた。この予算は来年度以降も継続される予定である。

以上のように昨年度から継続された医療機器開発に加え、新規開発案件を開始し、ベンチャー企業設立という本邦であまりない開発スキームに挑戦し、革新的医療機器開発のモデル構築を目指している。

### 倫理面への配慮

本研究班では、治験から早期臨床試験を遂行する上で、臨床内容に関する治療法の内容や意義、予測される合併症などを患者に十分に説明し、実施についてのインフォームドコンセントを得た上で、倫理審査委員会の承認を得て実行する。被験者に対しては、ヘルシンキ宣言に則り、被験者の福祉を最優先する。また患者情報の管理は、個人情報情報が外部に漏出しないよう慎重に行う。

早期臨床開発において動物モデルを用いた実験的体内視鏡下手術開発を行う場合には、多施設の実験動物管理委員会の承諾を得た後、必要最小限の頭数で施行する。臨床研究に際しては本研究で遵守すべき研究に関する指針等は、開発される医療機器のそれぞれの特性に応じて適応されるため現段階で規定できないが、少なくとも臨床研究に関する倫理指針、厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針に該当することが見込まれる。

**第3年次**

(雑誌論文)

明記はしていないが密接に関連している論文

- ・ 佐藤雄、西澤雄介、松永理絵、横田満、西澤祐吏、小林昭広、伊藤雅昭、杉藤正典、齋藤典男 術後急速な肝転移再発をきたした内分泌細胞への分化を伴う直腸 SM 癌の 1 例 日本大腸肛門病学会雑誌 2015 68(4):246-251
- ・ 齋藤典男、伊藤雅昭、小林昭広、西澤祐吏 下部直腸癌に対する周術期 (術前・術後) 化学放射線療法の位置づけ、Ⅷ大腸癌の治療 放射線療法、最新臨床大腸癌学-基礎研究から臨床応用- 日本臨床 2015 73(4):543-548
- ・ 伊藤雅昭、西澤祐吏、横田満、合志健一、塚田祐一郎、野口慶太、池田公治、柵山尚紀、松永理絵、岡田晃一郎、三浦奈緒子、榎本剛史 認定資格取得のための腹腔鏡下 S 状結腸切除術徹底レクチャー 2015;
- ・ Kobayashi S, Ito M, Yamamoto S, Kinugasa Y, Kotake M, Saida Y, Kobatake T, Yamanaka T, Saito N, Moriya Y. Randomized clinical trial of skin closure by subcuticular suture or skin stapling after elective colorectal cancer surgery. Br J Surg. 2015 102(5):495-500
- ・ Yokota M, Kojima M, Higuchi Y, Nishizawa Y, Kobayashi A, Ito M, Saito N, Ochiai A. Spread of tumor microenvironment contributes to colonic obstruction through subperitoneal fibroblast activation in colon cancer. Cancer Sci. 2015 106(4):466-474
- ・ 松永理絵、伊藤雅昭、齋藤典男 大腸癌スクリーニングにおける PET (PET/CT) 検査 消化器内視鏡 2015 27(4):699-703
- ・ Yokota M, Kobayashi A, Nomura S, Nishizawa Y, Ito M, Nagai K, Saito N. Patterns and treatment of recurrence following pulmonary resection for colorectal metastases. World J Surg. 2015 39(7):1758-1766
- ・ 伊藤雅昭 直腸癌に対する経肛門式内視鏡下手術 TAMIS (transanal minimally invasive surgery) による Down-to-up TME 臨外 2015 70(8):969-978
- ・ 下村 治、榎本剛史、伊藤 雅昭、田村孝史、大河内信弘 術前補助療法後に腹腔鏡下 ISR を施行した直腸 GIST の 1 例(原著論文/症例報告) 日臨外会誌 2015 76(2):338-343
- ・ 池田公治、伊藤雅昭 腹腔鏡下大腸癌手術における Needlescopic Surgery+NOSE (Natural Orifice Specimen Extraction) について【State of the art 大腸癌低侵襲手術の新たな展開を目指して】 大腸がん perspective 2015 2(3):33-37
- ・ 中島清一、金村剛志 2. 逆流性食道炎・アカラシア 消化器外科学レビュー2015-16 015 Takahashi T, Nakajima K, Miyazaki Y, Miyazaki Y, Kurokawa Y, Yamasaki M, Miyata H, Takiguchi S, Nishida T, Mori M, Doki Y Surgical strategy for the gastric gastrointestinal stromal tumors (GISTs) larger than 5 cm: Laparoscopic surgery is feasible, safe, and oncologically acceptable Surg Laparosc Endosc Percutan Tech 25:2 p114-118 2015
- ・ Eiji Kobayashi, Mamoru Kakuda, Yusuke Tanaka, Akiko Morimoto, Tomomi Egawa-Takata, Shinya Matsuzaki, Toshihiro Kimura, Yutaka Ueda, Kiyoshi Yoshino, Kiyokazu Nakajima, Tadashi Kimura A novel device for cleaning the camera port during laparoscopic surgery Surg Endosc Online 2015
- ・ Fukuda S, Nakajima K, Miyazaki Y, Takahashi T, Kurokawa Y, Yamasaki M, Miyata H, Takiguchi S, Mori M, Doki Y Use of double-lumen peripherally inserted central catheters for safer perioperative management of esophageal cancer patients JVA (The Journal of Vascular Access) 16:4 p338-343 2015
- ・ Shuichi Fukuda, Kiyokazu Nakajima, Yasuhiro Miyazaki, Tsuyoshi Takahashi, Tomoki Makino, Yukinori Kurokawa, Makoto Yamasaki, Hiroshi Miyata, Shuji Takiguchi, Masaki Mori, Yuichiro Doki Laparoscopic surgery for esophageal achalasia Multiport vs single-incision approach Asian Journal of Endoscopic Surgery Online 2015
- ・ 中島清一 新規技術の事業化に向けて 消化器内視鏡 27 巻 9 号 p1588-1591 2015
- ・ Yamada T, Hirota M, Tsutsui S, Kato M, Takahashi T, Yasuda K, Sumiyama K, Tsujii M, Takehara T, Mori M, Doki Y, Nakajima K. Gastric endoscopic submucosal dissection under steady pressure automatically controlled endoscopy (SPACE); a multicenter randomized preclinical trial. Surg Endosc 29:9 p2748-2755 2015
- ・ Hisashi Hara, Tsuyoshi Takahashi1, Rie Nakatsuka, Shigeyoshi Higashi, Tetsuji Naka, Kazuki Sumiyama,



- Yasuhiro Miyazaki, Tomoki Makino, Yukinori Kurokawa, Makoto Yamasaki, Shuji Takiguchi, Masaki Mori, Yuichiro Doki, Kiyokazu Nakajima A novel approach of optical biopsy using probe-based confocal laser endomicroscopy for peritoneal metastasis. Surg Endosc Online 2015
- Shigeyoshi Higashi, Kiyokazu Nakajima, Yasuhiro Miyazaki, Tomonori Makino, Tsuyoshi Takahashi, Yukinori Kurokawa, Makoto Yamasaki, Shuji Takiguchi, Masaki Mori, Yuichiro Doki A case of transvaginal NOTES partial gastrectomy using new techniques and devices Surgical Case Reports Onlien 2015
  - 中島清一 医工連携 単なる出会いを超えて 日本内視鏡外科学会雑誌ニュースレターNo.21 p7
  - Kawara F., Inoue J., Takenaka M., Hoshi N., Masuda A., Nishiumi S., Kutsumi H., Azuma T., Ohdaira T. (2014) "The Influences of Pepsin Concentrations and pH Levels on the Disinfective Activity of Ozone Nanobubble Water against Helicobacter pylori." Digestion, 90(1), pp-10-17.
  - Kobayashi Y., Sekiguchi Y., Noguchi T., Takahashi Y., Liu Q., Oguri S., Toyoda K., Uemura M., Ieiri S., Tomikawa M., Ohdaira T., Hashizume M., Fujie M.G. (2014) "Development of a robotic system with six-degrees-of-freedom robotic tool manipulators for single-port surgery." Int. J. Med. Robot, Jun 26.
  - Uemura M., Tomikawa M., Nagao Y., Yamashita N., Kumashiro R., Tsutsumi N., Ohuchida K., Ieiri S., Ohdaira T., Hashizume M. (2014) "Significance of metacognitive skills in laparoscopic surgery assessed by essential task simulation." Minim Invasive Ther Allied Technol.,23(3), pp-165-172.
  - Tetsuro Matsuzaki, Masahiro Oda, Takayuki Kitasaka, Yuichiro Hayashi, Kazunari Misawa, Kensaku Mori, "Automated anatomical labeling of abdominal arteries and hepatic portal system extracted from abdominal CT volumes," Medical Image Analysis, Vol.20, No.1, pp.152-161, 2015/02
  - 森 健策, "3D プリンティングの現状と将来展望:医用画像処理と 3D プリンタによる臓器実体モデル作成とその利用" 光技術コンタクト, Vol.53, No.2, 通巻 615, pp.20-27, 2015/02
  - 森 健策, "特集 RSNA 2014 A Century of Transforming Medicine : 15. 3D プリンタ, ユーザーインターフェイスの動向を中心に" インナービジョン 2015 年 2 月号, 2015, Vol.30, No.2, pp.46-47, 2015/02
  - 高田暢夫, 木下敬弘, 芝崎秀儒, 砂川秀樹, 榎本直記, 西田俊朗: 鏡下胃切除術における肝挙上と術後早期肝障害に関する検討. 日本内視鏡外科学会雑誌 20 (6)、599-605、2015
  - Kinoshita T., Shibasaki H, Enomoto N, Sahara Y, Sunagawa H, Nishida T : Laparoscopic splenic hilar lymph node dissection for proximal gastric cancer using integrated three-dimensional anatomic simulation software. Surg Endosc.doi:10.1007/s00464-015-4511-4, 2015
  - Nozaki I, Kato K, Igaki H, Ito Y, Daiko H., Yano M, Udagawa H, Mizusawa J, Katayama H, Nakamura K, Kitagawa Y, Evaluation of safety profile of thoracoscopic esophagectomy for T1bN0M0 cancer using data from JCOG0502: a prospective multicenter study., Surgical Endoscopy.,2015, 29(12):3519–3526
  - Daiko H., Fujita T, Laparoscopic assisted versus open gastric pull-up following thoracoscopic esophagectomy: A Cohort Study., International Journal of Surgery.,2015, 19:61-66
  - 大幸 宏幸, 藤田 武郎, 眞柳 修平, 金森 淳, 岡田 尚也, 佐藤 琢爾, 【食道胃接合部癌のすべて】 食道胃接合部癌の内視鏡下手術, 外科, 2015, 77 (4) : 413-422
  - : Yoshihiro Shimomura, Keita Minowa, Hiroshi Kawahira, Tetsuo Katsuura, Ergonomics, Ergonomic design and evaluation of the handle for an endoscopic dissector 19:1-6 (2015) 2014 Impact Factor: 1.556
  - Tomohiro Kurata, Zhenguang Li, Shigeto Oda, Hiroshi Kawahira, Hideaki Haneishi, Impact of vessel diameter and bandwidth of illumination in sidestream dark-field oximetry Biomedical Optics Express, 6:6(5):1616-31 (2015) 2014 Impact Factor: 3.648
  - 特集 : 内視鏡治療-内科と外科のコラボレーション 食道胃接合部病変に対する治療: 川平 洋, 羽成直行, 郡司 久, 森 幹人, 加野将之, 林 秀樹, 上里昌也, 大城崇司, 岡住慎一, 松原久裕, 消化器内視鏡, 27(9):1521-5 (2015)
  - 大幸 宏幸, 藤田 武郎, 眞柳 修平, 金森 淳, 岡田 尚也, 佐藤 琢爾, 【食道手術-合併症対処の各施設の工夫-】 周術期管理 当施設の合併症対処の工夫 ERAS・クリニカルパス ERAS プロトコルをもとにしたクリニカルパス, 手術, 2015, 69 (7) : 931-938
  - 大幸 宏幸, 藤田 武郎, 眞柳 修平, 金森 淳, 岡田 尚也, 佐藤 琢爾, 【体腔鏡下上部消化管手術 体腔鏡下食道癌手術】 体腔鏡下食道癌手術 腹臥位でのリンパ節郭清 腹臥位胸腔鏡下食道切除術, 外科, 2015, 77 (7) : 753-759
  - 大幸 宏幸, 藤田 武郎, 眞柳 修平, 金森 淳, 岡田 尚也, 佐藤 琢爾, 藤原 尚志, 堀切 康正, 【食道切除・胃全摘後再建法:手技のピットフォールとコツ】 食道切除後再建法 胸骨後経路・頸部食道胃管吻合 開腹と腹腔鏡による胸骨後経路胃管再建術+サーキュラーステープラーによる頸部食道胃管吻合法, 消化器外科, 2015, 38 (7) : 1005-1015
  - 川平 洋, 羽成直行, 郡司 久, 森 幹人, 加野将之, 林 秀樹, 上里昌也, 大城崇司, 岡住慎一, 松原久裕, 特集 : 内視鏡治療-内科と外科のコラボレーション 食道胃接合部病変に対する治療 消化器内視鏡, 27(9):1521-5

(2015)

- 北口和彦, 高橋進一郎, 小林達伺, 加藤祐一郎, 後藤田直人, 小西 大. 先天性胆道拡張症術後に発生した肛門部胆管癌の1例. 日本臨床外科学会雑誌. 2015, 76(5) : 1176-1181
- Sugimoto M, Gotohda N, Takahashi S, Konishi M, Kojima M, Ochiai A, Kobayashi T, Satake M. pancreatic perfusion data and post-pancreaticoduodenectomy outcomes. J Surg Res. 2015, 194 (2) : 441-449
- Kitaguchi K, Gotohda N, Yamamoto H, Kato Y, Takahashi S, Konishi M, Hayashi R. intraoperative circulatory management using the FloTrac™ system in laparoscopic liber resection. Asian J Endosc Surg. 2015, 8(2) : 164-170
- Nakayama Y, Kato Y, Okubo S, Takahashi D, Okada R, Nishida Y, Kitaguchi K, Gotohda N, Takahashi S, Konishi M. A case of mucinous cystic neoplasm of the liver: a case report. Surg Case reports. 2015, in press
- Kanamori J, Fujita T, Daiko H. Diaphragmatic herniation after thoracoscopic esophagectomy for carcinoma of the esophagus: a report of six cases. Esophagus 2016 13:88-92
- Kataoka K, Takeuchi H, Mizusawa J, Ando M, Tsubosa Y, Koyanagi K, Daiko H, Matsuda S, Nakamura K, Kato K, Kitagawa Y; Japan Esophageal Oncology Group/Japan Clinical Oncology Group. A randomized Phase III trial of thoracoscopic versus open esophagectomy for thoracic esophageal cancer: Japan Clinical Oncology Group Study JCOG1409. Jpn J Clin Oncol 2016 46(2):174-7
- Okada N, Fujii S, Fujita T, Kanamori J, Kojima T, Hayashi R, Daiko H. The prognostic significance of the positive circumferential resection margin in pathologic T3 squamous cell carcinoma of the esophagus with or without neoadjuvant chemotherapy. Surgery 2016 159(2):441-50
- Hamamoto Y, Akutsu Y, Nagashima F, Hironaka S, Ito Y, Kato K, Hara H, Tsubosa Y, Nakagawa S, Daiko H, Ozawa S, Kitagawa Y. Multicenter questionnaire survey on patterns of care for elderly patients with esophageal squamous cell carcinoma by the Japan Esophageal Oncology Group. Jpn J Clin Oncol 2016 46(2) 111-115
- Hatogai K, Yano T, Kojima T, Onozawa M, Fujii S, Daiko H, Yoda Y, Hombu T, Doi T, Kaneko K, Ohtsu A. Local efficacy and survival outcome of salvage endoscopic therapy for local recurrent lesions after definitive chemoradiotherapy for esophageal cancer. Radiat Oncol. Radiat Oncol. 2016 (in press)
- Hatogai K, Fujii S, Kojima T, Daiko H, Kadota T, Fujita T, Yoshino T, Doi T, Takiguchi Y, Ohtsu A. Prognostic significance of tumor regression grade for patients with esophageal squamous cell carcinoma after neoadjuvant chemotherapy followed by surgery. J Surg Oncol. 2016 113(4):390-396
- Fujita T, Okada N, Kanamori J, Sato T, Mayanagi S, Torigoe K, Oshita A, Yamamoto H, Daiko H. Thermogenesis induced by amino acid administration prevents intraoperative hypothermia and reduces postoperative infectious complications after thoracoscopic esophagectomy. Dis Esophagus. 2016 (in press)
- Fujita T, Okada N, Sato T, Mayanagi S, Kanamori J, Daiko H. Translation, validation of the EORTC esophageal cancer quality-of-life questionnaire for Japanese with esophageal squamous cell carcinoma: analysis in thoraco-laparoscopic esophagectomy versus open esophagectomy. Jpn J Clin Oncol. 2016 (in press)
- 大幸 宏幸, 藤田 武郎, 眞柳 修平, 金森 淳, 岡田 尚也, 佐藤 琢爾, 藤原 尚志, 堀切 康正 高齢がん患者と低侵襲外科的治療 超高齢者および多重合併症併存胸部食道がんに対する術前から社会復帰までを見据えた低集学的侵襲性手術と多職種周術期管理チームによる支援体制 がん看護 1+2 増刊号 2016 69(7) 931-938
- 大幸 宏幸, 藤田 武郎 I. 食道切除後再建/1. 胃管再建 c. リニアステープラー —Collard 変法の方法と治療成績手術 2016 21(2) 225-231
- 大幸 宏幸, 藤田 武郎 腹臥位胸腔鏡下食道切除における上縦隔リンパ節郭清・転移頻度に応じた合理的郭清 日本外科学会雑誌 2016 117(2) 144-147
- 木下敬弘, 芝崎秀儒, 海藤章郎, 西田俊朗 腹腔鏡下幽門側胃切除における安全な体腔内吻合の工夫: Roux-en-Y 再建 手術 2016 70;23-27
- 木下敬弘, 海藤章郎, 芝崎秀儒, 西田俊朗 胃切除後再建 噴門側胃切除・空腸間置・ダブルトラクト再建 手術 2016 70;301-308

**その他 間接的ではあるが関連している論文**

- 木下敬弘, 芝崎秀儒, 榎本直記, 西田俊朗: 高機能電気メスを駆使した腹腔鏡下胃切除術～手技と理論的背景～. 手術 69(3): 195-201, 2015

- Fujita T, Daiko H, Optimal duration of prophylactic antimicrobial administration and risk of postoperative infectious events in thoracic esophagectomy with three-field lymph node dissection: short-course versus prolonged antimicrobial administration, 2015, Esophagus, 38-43
- 大幸 宏幸, 藤田 武郎, 眞柳 修平, 金森 淳, 岡田 尚也, 佐藤 琢爾, 食道胃接合部癌の内視鏡下手術, 外科, 2015
- Yuki Yamamoto, Ryoichi Nakamura, Two-way least-incision transformable end-effector forceps for robot-assisted surgery, ROBOMECH Journal, 2015, 2:3
- Kawahira H, Kodera Y, Hiki N, Takahashi M, Itoh S, Mitsumori N, Kawashima Y, Namikawa T, Inada T, Nakada K. Optimal Roux-en-Y reconstruction after distal gastrectomy for early gastric cancer as assessed using the newly developed PGSAS-45 scale. Surg Today. 2015 Jan 29. [Epub ahead of print]
- Ohira G, Kawahira H, Miyauchi H, Suzuki K, Nishimori T, Hanari N, Mori M, Tsuma T, Gunji H, Horibe D, Narushima K, Matsubara H. Effectiveness of synthetic polyglycomer short-term absorbable sutures vs. polydioxanone long-term absorbable sutures for prevention of incisional hernia and wound dehiscence after abdominal wall closure: a comparative randomized study in patients treated for gastric or colon cancer. Surg Today. 2015 Jan 6. [Epub ahead of print]

(学会発表)

- 合志健一、西澤祐吏、塚田祐一郎、横田満、小林昭広、伊藤雅昭、齋藤典男 下部直腸癌における術前化学療法後の治療成績と術後肛門機能の予測 第115回日本外科学会の学術集会(2015/4/16-18)名古屋
- 西澤祐吏、伊藤雅昭、小林昭広、酒井康之、駒井好信、横田満、合志健一、塚田祐一郎、齋藤典男 骨盤内他臓器浸潤悪性腫瘍における機能温存・再見手術の開発-TPEの回避を目指して- 第115回日本外科学会の学術集会(2015/4/16-18)名古屋
- 伊藤雅昭、池田公治、西澤祐吏、小林昭広、齋藤典男 大腸癌外科治療における Reduced port surgery の位置づけ 第115回日本外科学会の学術集会(2015/4/16-18)名古屋
- 横田満、小嶋基寛、西澤祐吏、小林昭広、伊藤雅昭、落合淳志 漿膜下繊維芽細胞の遺伝子発現を用いた大腸癌の予後不良因子の抽出方法の検討 第115回日本外科学会の学術集会(2015/4/16-18)名古屋
- 小林昭広、伊藤雅昭、西澤祐吏、横田満、合志健一、塚田祐一郎、河野眞吾、山崎信義、野口慶太、池田公治、柵山尚紀、松永理絵、岡田晃一郎、三浦奈緒子、齋藤典男 進行下部直腸癌に対する腹腔鏡下側方リンパ節郭清の短期成績 第115回日本外科学会の学術集会(2015/4/16-18)名古屋
- 松永理絵、西澤祐吏、小林昭広、伊藤雅昭、齋藤典男 鉗子軌道記録解析システムを用いた鏡視下手術手技における3D内視鏡の有用性に反する検討 第115回日本外科学会の学術集会(2015/4/16-18)名古屋
- 岡田晃一郎、伊藤雅昭、合志健一、塚田祐一郎、横田満、西澤祐吏、小林昭広、齋藤典男 直腸癌鼠径リンパ節転移についての検討 第115回日本外科学会の学術集会(2015/4/16-18)名古屋
- 小島 成浩、伊藤雅昭、榎本剛史 腹腔鏡大腸切除術の手術時間短縮における術者個人およびチームの能力についての検討 第115回日本外科学会の学術集会(2015/4/16-18)名古屋
- 池田公治、西澤祐吏、櫻庭実、小林昭広、伊藤雅昭、齋藤典男 直腸癌術後難治性ろうこうに対する皮膚充填術の治療成績 第115回日本外科学会の学術集会(2015/4/16-18)名古屋
- 西澤祐吏、伊藤雅昭、合志健一、塚田祐一郎、小林昭広、齋藤典男 直腸癌術後の性・排尿機能障害に関する科学的検討-神経解剖と手術手技における熱損傷の観点から- 第69回手術手技研究会(2015/5/15-16)高崎
- Koushi K, Ikematsu H, Osera S, Ito M, Yoda Y, Oono Y, Yano T, Saito N, Kaneko K. The lesion detection rate of surveillance colonoscopy after surgery for colorectal cancer: analysis of Japanese National Cancer Center DDW2015(2015/5/16-19) Washintpn, DC
- Yokota M, Saito N, Matsunaga R, Nishizawa Y, Kobayashi A, Ito M The impact of anastomotic leakage of anal function following intersphincteric resection The American Society of Colon and Rectal Surgeons - 2015(2015/5/30-6/4) Boston."
- 浜部敦史、西澤祐吏、佐々木剛志、小林昭広、伊藤雅昭、大腸癌肝転移切除後の予後因子に関する検討 第83回大腸癌研究会(2015/7/3)福岡
- 伊藤雅昭、小林昭広、西澤祐吏、齋藤典男 肛門管近傍の下部直腸癌における内視鏡下手術手技の術式選択 第70回日本消化器外科学会総会(2015/7/15-17)浜松
- 小林昭広、伊藤雅昭、西澤祐吏、齋藤典男 側方郭清を施行した進行下部直腸癌の長期成績 第70回日本消化器外科学会総会(2015/7/15-17) 浜松

- ・ 塚田祐一郎、伊藤雅昭、合志健一、西澤祐吏、小林昭広、齋藤典男 肛門近傍下部直腸癌に対する術前治療を併用した ISR の成績 第 70 回日本消化器外科学会総会(2015/7/15-17)浜松
- ・ 松永理絵、西澤祐吏、横田満、小林昭広、伊藤雅昭、齋藤典男 定型化された腹腔鏡下超低位前方切除の治療成績と再建方法による術後肛門機能の検討 第 70 回日本消化器外科学会総会(2015/7/15-17)浜松
- ・ 野口慶太、西澤祐吏、小林昭広、伊藤雅昭、齋藤典男 腹腔内再発を来した GIST に対する手術治療の検討 第 70 回日本消化器外科学会総会(2015/7/15-17)浜松
- ・ 岡田晃一郎、西澤祐吏、野口慶太、小林昭広、伊藤雅昭、齋藤典男 左側大腸癌イレウスに対する術前治療と手術成績の検討 第 70 回日本消化器外科学会総会(2015/7/15-17)浜松
- ・ 西澤祐吏、伊藤雅昭、荒木淳、中村達雄、齋藤典男 治療成績と術後肛門機能の両立を目指した直腸癌治療-術前治療から術後肛門機能不全に対する治療まで- 第 70 回日本消化器外科学会総会(2015/7/15-17)浜松
- ・ 錦織英知、伊藤雅昭、西澤祐吏 新規経肛門減圧ドレーン開発に向けた基礎研究報告 第 70 回日本消化器外科学会総会(2015/7/15-17)浜松
- ・ 横田満、伊藤雅昭、西澤祐吏、小林昭広、齋藤典男 ISR 術後縫合不全が及ぼす肛門機能への影響 第 70 回日本消化器外科学会総会(2015/7/15-17)浜松
- ・ 合志健一、西澤祐吏、塚田祐一郎、横田満、小林昭広、伊藤雅昭、齋藤典男 術前化学療法を併用した下部進行直腸癌手術の治療成績と術後肛門機能予測 第 70 回日本消化器外科学会総会(2015/7/15-17)浜松
- ・ 三浦奈緒子、伊藤雅昭、西澤祐吏、塚田祐一郎、小林昭広、齋藤典男 腹腔鏡下直腸癌手術における骨盤内ドレーンの臨床的意義 第 70 回日本消化器外科学会総会(2015/7/15-17)浜松
- ・ 小林昭広、伊藤雅昭、西澤祐吏、齋藤典男 直腸がん術後骨盤内再発に対する外科治療 第 37 回日本癌局所療法研究会(2015/7/10)千葉
- ・ 長谷川寛、西澤祐吏、佐々木剛志、小林昭広、伊藤雅昭 内視鏡技術認定医取得を目指した、腹腔鏡下 S 状結腸切除術の定型化 第 74 回千葉県外科医会(2015/7/4)千葉
- ・ 西澤祐吏、伊藤雅昭、佐々木剛志、小林昭広 腹腔鏡下手術における腹壁支点の可動性に関する検討 4th Reduced Port Surgery(2015/7/31-8/1)秋田
- ・ 西澤祐吏、伊藤雅昭、佐々木剛志、小林昭広 ISR 術後の排便機能障害に対する治療 第 21 回大腸肛門機能障害研究会(2015/9/5)千代田区
- ・ 西澤祐吏、伊藤雅昭、塚田祐一郎、合志健一、小林昭広、佐々木剛志 ISR 術後の排便機能障害に対する治療 [The therapeutic strategy for anal dysfunction followed by ISR] 第 70 回日本大腸肛門病学会学術集会(2015/11/13-14)名古屋
- ・ 西澤祐吏、伊藤雅昭、塚田祐一郎、合志健一、小林昭広、佐々木剛志 ISR を念頭に置いた cT3N1 下部直腸がんの治療戦略 [Therapeutic strategy for locally advanced lower rectal cancer (cT3N1) with ISR] 第 70 回日本大腸肛門病学会学術集会(2015/11/13-14)名古屋
- ・ 伊藤雅昭、小林昭広、西澤祐吏、佐々木剛志 下部直腸癌における ISR の現状と展望 [Current status and future of ISR for low rectal cancer] 第 70 回日本大腸肛門病学会学術集会(2015/11/13-14)名古屋
- ・ 三浦奈緒子、西澤祐吏、柵山尚紀、池田公治、塚田祐一郎、合志健一、佐々木剛志、小林昭広、伊藤雅昭 ISR 術後の直腸粘膜脱に対して Delorme 手術を施行した 11 例 第 70 回日本大腸肛門病学会学術集会(2015/11/13-14)名古屋
- ・ 横田満、西澤祐吏、松永理絵、小林昭広、伊藤雅昭、齋藤典男 ISR 術後吻合部狭窄症例の検討 第 70 回日本大腸肛門病学会学術集会(2015/11/13-14)名古屋
- ・ 松永理絵、西澤祐吏、横田満、小林昭広、伊藤雅昭 直腸癌手術における器械吻合と手縫い吻合による術後肛門機能の検討 第 70 回日本大腸肛門病学会学術集会(2015/11/13-14)名古屋
- ・ 塚田祐一郎、伊藤雅昭、西澤祐吏、合志健一、小林昭広、佐々木剛志 肛門管近傍の進行下部直腸癌に対する術前化学療法を併用した手術成績 第 70 回日本大腸肛門病学会学術集会(2015/11/13-14)名古屋
- ・ 柵山尚紀、西澤祐吏、小林昭広、伊藤雅昭 骨盤内他臓器合併切除術後に長期入院を要するリスク因子の検討 第 70 回日本大腸肛門病学会学術集会(2015/11/13-14)名古屋
- ・ 西澤雄介、伊藤雅昭、齋藤典男、赤木智徳、猪股雅史、山口高史、正木忠彦、福長洋介、村田幸平、渡邊昌彦、杉原健一、小西文雄、北野正剛、森谷宜皓、島田安博 術後合併症の危険因子の観点からみた腹腔鏡手術の標準化の検討: stage2/3 結腸癌に対する D3 郭清を行う腹腔鏡手術と開腹手術の比較試験 (JCOG0404) の解析結果から (Standardization of laparoscopic surgery from the point of view of risk factors for postoperative complications: From the results of analyzing a randomized clinical trial of laparoscopic versus open surgery with D3 lymphadenectomy for stage II/III colon cancer(JCOG0404)) 第 70 回日本大腸肛門病学会学術集会(2015/11/13-14)名古屋

- ・ 西澤祐吏、中村達雄、荒木淳、伊藤雅昭、齋藤典男 排便機能障害に対する新たな治療コンセプト—再生医療と移植医療の基礎研究から— (Basic research on Regenerative medicine and transplantation therapy for anal dysfunction) 第 74 回日本癌学会学術総会(2015/10/8-10)名古屋
- ・ 近藤章宏、西澤祐吏、佐々木剛志、小林昭広、伊藤雅昭 大腸癌同時性肝転移に対する一期的切除の検討 第 77 回日本臨床外科学会総会(2015/11/26-28)福岡
- ・ 錦織英知、石井正之、伊藤雅昭、古角佑司郎、西澤祐吏、東山洋 直腸癌術後縫合不全予防における経肛門減圧ドレーンの功罪及び新規開発への取り組み 第 77 回日本臨床外科学会総会(2015/11/26-28)福岡
- ・ 西澤祐吏、伊藤雅昭、佐々木剛志、小林昭広 腹腔鏡下S状結腸切除術の定型化から考える外科教育のイノベーション 第 77 回日本臨床外科学会総会(2015/11/26-28)福岡
- ・ 伊藤雅昭、赤須孝之、笹木有佑、小島宏、松田圭二、中森正二、小森康司、齋藤典男 StageIII 大腸癌における術後 UFT 療法の効果と KRAS/NRA 変異の関係：NSAS-CC/RC 試験からの研究 JDDW 2015 (第 23 回日本消化器関連学会週刊) (2015/10/8-11)東京
- ・ 田中慶太郎、奥田準二、山本聖一郎、伊藤雅昭、山口茂樹、榎本雅之、堀江久永、長谷川博俊、久保義郎、渡邊昌彦 Clinical Stage0/I 期直腸癌に対する腹腔鏡下低位前方切除における縫合不全の危険因子 JDDW 2015 (第 23 回日本消化器関連学会週刊) (2015/10/8-11)東京
- ・ 伊藤雅昭 腹腔鏡下直腸低位前方切除術 第 28 回日本内視鏡外科学会総会(2015/12/10-12)大阪
- ・ 西澤祐吏、伊藤雅昭、佐々木剛志、小林昭広 腹腔鏡下 ISR における鏡視下解剖を考慮した安全な肛門管剥離 第 28 回日本内視鏡外科学会総会(2015/12/10-12)大阪
- ・ 伊藤雅昭、西澤祐吏、佐々木剛志、小林昭広 TAMIS により視認される肛門管周囲直腸前壁の外科解剖とその手技 第 28 回日本内視鏡外科学会総会(2015/12/10-12)大阪
- ・ 塚田祐一郎、伊藤雅昭、秋田恵一、山口久美子、小嶋基寛、齋藤典男 肛門管周囲の外科解剖にもとづき定型化された腹腔鏡下 ISR 手技 第 28 回日本内視鏡外科学会総会(2015/12/10-12)大阪
- ・ 佐々木剛志、西澤祐吏、小林昭広、伊藤雅昭 当院における進行結腸癌に対する腹腔鏡下手術の長期成績と考察 第 28 回日本内視鏡外科学会総会(2015/12/10-12)大阪
- ・ 駒井好信、後藤田直人、酒井康之、伊藤雅昭 肝切除手技をとり入れた安全な腹腔鏡下無阻血腎部分切除? 切除と止血の協調? 第 28 回日本内視鏡外科学会総会(2015/12/10-12)大阪
- ・ 西澤祐吏、伊藤雅昭、塚田祐一郎、合志健一、佐々木剛志、小林昭広 通常腹腔鏡下手術を応用したロボット支援腹腔鏡下直腸癌手術の導入とフィードバック 第 28 回日本内視鏡外科学会総会(2015/12/10-12)大阪
- ・ 西澤祐吏、伊藤雅昭、佐々木剛志、小林昭広 腹壁支点のピボット運動と可動性を理解した鉗子操作の重要性 第 28 回日本内視鏡外科学会総会(2015/12/10-12)大阪
- ・ 伊藤雅昭、西澤祐吏、小林昭広、佐々木剛志 技術認定を目指した腹腔鏡下 S 状結腸切除術徹底レクチャー 第 28 回日本内視鏡外科学会総会(2015/12/10-12)大阪
- ・ 浜部敦史、伊藤雅昭、錦織英知、西澤祐吏、佐々木剛志、小林昭広 腹腔鏡下低位前方切除術における Double-stapling technique 後の縫合不全 第 28 回日本内視鏡外科学会総会(2015/12/10-12)大阪
- ・ 松永理絵、西澤祐吏、佐々木剛志、小林昭広、伊藤雅昭 ISR における開腹手術と腹腔鏡下手術による術後排便機能の比較 第 28 回日本内視鏡外科学会総会(2015/12/10-12)大阪
- ・ 西本航、中島諒太、川平洋、下村義弘、中村亮一、伊藤雅昭、西澤祐吏、松原久裕 術者の膝部を支え下肢を保持する新規手術用イスの開発 第 28 回日本内視鏡外科学会総会(2015/12/10-12)大阪
- ・ 三浦奈緒子、伊藤雅昭、西澤祐吏、合志健一、塚田祐一郎、小林昭広、佐々木剛志 腹腔鏡下 ISR における骨盤内ドレーンの臨床的意義 第 28 回日本内視鏡外科学会総会(2015/12/10-12)大阪
- ・ 野口慶太、松本哲、柿坂達彦、久慈麻里子、田原宗徳、山上英樹、西澤祐吏、伊藤雅昭、高橋周作 技術認定医を取得する立場から指導する立場へ 第 28 回日本内視鏡外科学会総会(2015/12/10-12)大阪
- ・ 池田公治、西澤祐吏、伊藤雅昭 大腸がんに対する Needlescopic Surgery の短期治療成績 第 28 回日本内視鏡外科学会総会(2015/12/10-12)大阪
- ・ 柵山尚紀、伊藤雅昭、佐々木剛志、西澤祐吏、小林昭広 腹腔鏡下 ISR における脾彎曲完全授動と IMA/IMV 高位切除の臨床的意義 第 28 回日本内視鏡外科学会総会(2015/12/10-12)大阪
- ・ 安達智洋、檜井孝夫、川口康夫、大段秀樹、金澤旭宣、中西正芳、久保義郎、伊藤雅昭、猪俣雅史、伴登宏行、八岡利昌、植木隆、渡邊昌彦 高齢者における開腹と腹腔鏡手術の BMI による検討 第 28 回日本内視鏡外科学会総会(2015/12/10-12)大阪
- ・ 岡田晃一郎、伊藤雅昭、合志健一、柵山尚紀、池田公治、塚田祐一郎、佐々木剛志、西澤祐吏、小林昭広 直腸癌に対する Transanal minimally invasive surgery (TAMIS)-TME の短期成績 第 28 回日本内視鏡外科学会総会(2015/12/10-12)大阪

- 合志健一、伊藤雅昭、佐々木剛志、西澤祐吏、小林昭広 局所進行直腸癌に対する術前化学療法後の腹腔鏡下 Intersphincteric Resection+両側側方郭清の治療成績 第28回日本内視鏡外科学会総会(2015/12/10-12)大阪
- 小島成浩、伊藤雅昭、榎本剛史、坂本嗣郎 腹腔鏡下大腸切除術における外科医チームの成熟度に関する検討 第28回日本内視鏡外科学会総会(2015/12/10-12)大阪
- 近藤彰宏、西澤祐吏、松永理絵、佐々木剛志、小林昭広、伊藤雅昭 ロックアームを用いた腹腔鏡下直腸癌手術における術野展開の工夫 第28回日本内視鏡外科学会総会(2015/12/10-12)大阪
- 小林昭広、伊藤雅昭、西澤祐吏、佐々木剛志、塚田祐一郎、合志健一、池田公治、柵山尚紀、松永理絵、岡田晃一郎、三浦奈緒子、齋藤典男 定型化をめざした腹腔鏡下側方リンパ節郭清の手術手順と短期成績 第28回日本内視鏡外科学会総会(2015/12/10-12)大阪
- 長谷川寛、佐々木剛志、松永理絵、西澤祐吏、小林昭広、伊藤雅昭 当院における横行結腸癌に対する腹腔鏡下手術の治療成績 第28回日本内視鏡外科学会総会(2015/12/10-12)大阪
- Ohdaira T. (2014), Utility of a human-type robot as humanoid surgeon in Multi Piercing Surgery of ultra-minimally invasive laparoscopic surgery. SAGES 2014
- 太平猛 (2014)、「産学官連携で医療機器開発を成功させるために」、医療機器関連産業新規参入セミナー(鳥取県)
- 太平猛 (2014)、「先端外科治療による成人病へのアプローチ：低侵襲外科の現状と未来」、西埼玉先進治療研究会(埼玉県)
- 木下敬弘、後藤田直人、高橋進一郎：腹腔鏡下胃切除における周術期感染対策。第27回日本外科感染症学会総会、2014年12月4日、東京
- 木下敬弘：私のこだわりの手技：腹腔鏡下幽門側胃切除 D2 郭清。第87回日本胃癌学会、2015年3月5日、広島
- 木下敬弘：腹腔鏡下幽門側胃切除：Roux-en-Y 再建。第87回日本胃癌学会、2015年3月5日、広島
- 木下敬弘：早期胃癌に対する LDG と適応拡大の展望。第87回日本胃癌学会、2015年3月6日、広島
- 芝崎秀儒、木下敬弘、榎本直記、砂川秀樹、高田暢夫、杉田静紀、寺田参省、渡邊将弘、西田俊朗：腹腔鏡下噴門側胃切除術におけるダブルトラクト再建。第87回日本胃癌学会、2015年3月6日、広島
- 砂川 秀樹、木下 敬弘、杉田 静紀、渡邊 将弘、寺田 参省、高田 暢夫、榎本 直記、芝崎 秀儒、西田 俊朗：腹腔鏡下胃切除術における 3D-CT を用いた脾動静脈走行シミュレーションの有用性。第115回日本外科学会定期学術集会。2015
- 木下 敬弘、芝崎 秀儒、榎本 直記、大幸 宏幸、藤田 武郎、西田 俊朗：Our trials to standardize No.11 and No.10 lymph node dissection in laparoscopic total gastrectomy. 第70回日本消化器外科学会総会。2015
- 木下 敬弘、芝崎 秀儒、砂川 秀樹、高田 暢夫、渡邊 将弘、寺田 参省、杉田 静紀、西田 俊朗。ロボット支援下腹腔鏡下胃切除：導入初期20例の短期成績。第13回日本消化器外科学会大会。2015
- 藤田 武郎、佐藤琢爾、岡田尚也、眞柳修平、金森 淳、大幸宏幸、「胸部食道癌手術における予防的抗生剤の至適投与期間に関する検討：3日間投与 VS 当日投与」、第27回日本外科感染症学会総会、2014年12月4日-5日、東京
- 眞柳 修平、藤田武郎、大幸宏幸、「食道癌手術における術後感染症予防の試み」、第27回日本外科感染症学会総会、2014年12月4日-5日、東京
- 岡田 尚也、藤田武郎、佐藤琢爾、眞柳修平、金森 淳、大幸宏幸、「食道癌切除結腸再建後に発症した Vancomycin 抵抗性 MRSA 腸炎に対して Rifampicin 併用投与が奏功した1例」、第27回日本外科感染症学会総会、2014年12月4日-5日、東京
- 大幸宏幸、「胸腔鏡下手術の進歩-当院における術式の変遷」、第25回日本気管食道科学会認定気管食道科専門医大会、2015年2月21-22日、宇都宮
- H Daiko, Trouble shooting in complicated VATS Esophagectomy, 2014 Chang Gung Memorial Hospital International Conference on Minimal Invasive Thoracic Surgery, Taiwan, Dec, 13, 2014
- H Daiko, Thoracoscopic Esophagectomy in the Prone Position for Esophageal Squamous Cell Carcinoma, 2015 Shanghai-Tokyo Archive of Thoracic Surgery, Shanghai, Mar, 19-21, 2015
- 榎本 直記、木下 敬弘、芝崎 秀儒、大幸 宏幸、西田 俊朗、食道胃接合部癌に対する腹腔鏡下手術の治療成績、第115回日本外科学会定期学術集会、2015.4
- 金森 淳、大幸 宏幸、藤田 武郎、眞柳 修平、岡田 尚也、佐藤 琢爾、食道粘膜下腫瘍に対する低侵襲ハイブリッド手術 Minimally Invasive Hybrid Surgery, 第115回日本外科学会定期学術集会、2015.4
- 佐藤 琢爾、岡田 尚也、眞柳 修平、金森 淳、藤田 武郎、大幸 宏幸、食道癌術後の胸腔ドレーン早期抜去の検討、第115回日本外科学会定期学術集会、2015.4
- 岡田 尚也、藤田 武郎、佐藤 琢爾、眞柳 修平、金森 淳、大幸 宏幸、高齢者あるいは多重合併症を有する食道

- 癌ハイリスク患者に対する2期分割手術の治療成績, 第115回日本外科学会定期学術集会, 2015.4
- ・ 眞柳 修平, 藤田 武郎, 佐藤 琢爾, 岡田 尚也, 金森 淳, 大幸 宏幸, 320列Area Detector CTを用いたNear T4食道癌診断と治療成績, 第115回日本外科学会定期学術集会, 2015.4
  - ・ 大幸 宏幸, 藤田 武郎, 眞柳 修平, Thoracoscopic esophagectomyの標準治療としての妥当性, 第69回日本食道学会学術集会 2015.7
  - ・ 大幸 宏幸, 藤田 武郎, 小島 隆嗣, 頸部食道がんに対する治療成績: 手術 vs 根治的放射線療法, 第69回日本食道学会学術集会 2015.7
  - ・ 大幸 宏幸, 高度局所進行食道癌に対する集学的治療, 第69回日本食道学会学術集会 2015.7
  - ・ 金森 淳, 佐藤 琢爾, 岡田 尚也, 眞柳 修平, 藤田 武郎, 大幸 宏幸, 縫合不全に対する経皮経膈孔ドレナージの有用性, 第69回日本食道学会学術集会 2015.7
  - ・ 阿久津 泰典, 加藤 健, 井垣 弘康, 伊藤 芳紀, 野崎 功雄, 大幸 宏幸, 矢野 雅彦, 宇田川 晴司, 水澤 純基, 北川 雄光, JCOG食道がんグループ, T1N0胸部食道癌における病理学的リンパ節転移状況の検討—JCOG0502附随研究一, 第69回日本食道学会学術集会 2015.7
  - ・ 岡田 尚也, 佐藤 琢爾, 眞柳 修平, 金森 淳, 藤田 武郎, 藤井 誠志, 大幸 宏幸, 当科における食道内分泌細胞癌外科切除20症例の臨床病理学的検討, 第69回日本食道学会学術集会 2015.7
  - ・ 佐藤 琢爾, 藤田 武郎, 岡田 尚也, 眞柳 修平, 金森 淳, 小林 達伺, 大幸 宏幸, Borderline T4食道癌の壁深達度診断における320列Area Detector CTの有効性, 第69回日本食道学会学術集会 2015.7
  - ・ 眞柳 修平, 佐藤 琢爾, 岡田 尚也, 金森 淳, 藤田 武郎, 大幸 宏幸, 胸腔鏡腹腔鏡食道切除における最適な再建経路と吻合法の検討, 第69回日本食道学会学術集会 2015.7
  - ・ 鳩貝 健, 藤井 誠志, 小島 隆嗣, 門田 智裕, 大幸 宏幸, 吉野 孝之, 土井 俊彦, 大津 敦, 食道癌術前化学療法施行例の病理組織学的予後因子の検討, 第69回日本食道学会学術集会 2015.7
  - ・ 門田 智裕, 藤井 誠志, 矢野 友規, 鳩貝 健, 依田 雄介, 藤田 武郎, 小島 隆嗣, 金子 和弘, 大幸 宏幸, 術前化学療法後食道癌の原発巣表層部における組織学的効果判定の有用性の検討, 第69回日本食道学会学術集会 2015.7
  - ・ 加藤 健, 井垣 弘康, 伊藤 芳紀, 野崎 功雄, 大幸 宏幸, 矢野 雅彦, 宇田川 晴司, 中村 健一, 福田 治彦, 北川 雄光, 臨床病期I期食道癌患者の治療選択に影響を及ぼす因子; JCOG0502副次的解析, 第69回日本食道学会学術集会 2015.7
  - ・ 岡田 尚也, 佐藤 琢爾, 眞柳 修平, 金森 淳, 藤田 武郎, 藤井 誠志, 大幸 宏幸, 当科における食道癌肉腫の病理組織診断と外科切除15症例の臨床病理学的検討, 第69回日本食道学会学術集会 2015.7
  - ・ 門田 智裕, 藤井 誠志, 矢野 友規, 鳩貝 健, 依田 雄介, 藤田 武郎, 小島 隆嗣, 金子 和弘, 大幸 宏幸, 食道癌の術前化学療法後のリンパ節における組織学的効果判定の有用性, 第69回日本食道学会学術集会 2015.7
  - ・ 藤田 武郎, 佐藤 琢爾, 岡田 尚也, 眞柳 修平, 金森 淳, 大幸 宏幸, 当院での多職種周術期管理チームによる手術患者に対する活動: 術前~周術期~術後まで, 第69回日本食道学会学術集会 2015.7
  - ・ 岡田 尚也, 藤田 武郎, 佐藤 琢爾, 眞柳 修平, 金森 淳, 芝崎 秀儒, 木下 敬弘, 大幸 宏幸, 食道切除術における当科での周術期栄養管理とSSI対策の変遷とその成績, 第70回日本消化器外科学会総会 2015.7
  - ・ 金森 淳, 佐藤 琢爾, 岡田 尚也, 眞柳 修平, 芝崎 秀儒, 木下 敬弘, 藤田 武郎, 大幸 宏幸, 腹臥位胸腔鏡下食道切除における縦隔リンパ節郭清, 第70回日本消化器外科学会総会 2015.7
  - ・ 眞柳 修平, 大幸 宏幸, 井垣 弘康, 田中 洋一, 松下 尚之, 細谷 好則, 臨床病期II/III(nonT4)胸部食道扁平上皮がんに対するDCF療法による術前補助化学療法の実施可能試験, 第70回日本消化器外科学会総会 2015.7
  - ・ 佐藤 琢爾, 岡田 尚也, 眞柳 修平, 金森 淳, 芝崎 英儒, 木下 敬弘, 藤田 武郎, 大幸 宏幸, 食道癌切除における腹腔鏡下胸骨後経路胃管再建術の工夫, 第70回日本消化器外科学会総会 2015.7
  - ・ 大幸 宏幸, 藤田 武郎, 眞柳 修平, 金森 淳, 藤原 尚志, 岡田 尚也, 佐藤 琢爾, 堀切 康正, 開胸と胸腔下食道切除術の定型化, 第77回日本臨床外科学会総会 2015.11
  - ・ 藤田 武郎, 堀切 康正, 佐藤 琢爾, 岡田 尚也, 藤原 尚志, 眞柳 修平, 金森 淳, 大幸 宏幸, 食道がん術後の患者ケア増進に向けた現状と今後の在り方「食道がん術後患者教室の運営と術後リハビリ地域連携パスの立ち上げ」, 第77回日本臨床外科学会総会 2015.11
  - ・ 藤田 武郎, 堀切 康正, 佐藤 琢爾, 岡田 尚也, 藤原 尚志, 眞柳 修平, 金森 淳, 大幸 宏幸, 当院での腹腔鏡補助下胃管再建と吻合法の工夫, 第77回日本臨床外科学会総会 2015.11
  - ・ 金森 淳, 堀切 康正, 佐藤 琢爾, 岡田 尚也, 藤原 尚志, 眞柳 修平, 藤田 武郎, 小島 隆嗣, 大幸 宏幸, 食道癌術後局所再発に対する化学放射線療法の検討, 第77回日本臨床外科学会総会 2015.11
  - ・ 眞柳 修平, 堀切 康正, 佐藤 卓爾, 岡田 尚也, 藤原 尚志, 金森 淳, 藤田 武郎, 大幸 宏幸, 胸腔鏡下食道切除におけるポート位置の工夫: 適切な術野展開と徹底したリンパ節郭清の定型化のために, 第77回日本臨

床外科学会総会 2015. 11

- 藤原 尚志, 藤田 武郎, 堀切 康正, 佐藤 琢爾, 岡田 尚也, 眞柳 修平, 金森 淳, 大幸 宏幸, 食道切除術における当科での周術期感染症対策とその成績, 第 77 回日本臨床外科学会総会 2015. 11
- 岡田 尚也, 藤田 武郎, 堀切 康正, 佐藤 琢爾, 藤原 尚志, 眞柳 修平, 金森 淳, 大幸 宏幸, 胸腔鏡下食道切除における術中アミノ酸製剤投与による低体温抑制の臨床的有用性, 第 77 回日本臨床外科学会総会 2015. 11
- 佐藤 琢爾, 堀切 康正, 岡田 尚也, 藤原 尚志, 眞柳 修平, 金森 淳, 藤田 武郎, 大幸 宏幸, 高齢者および多重疾患を有する食道癌ハイリスク症例に対する二期分割手術の検討, 第 77 回日本臨床外科学会総会 2015. 11
- 堀切 康正, 佐藤 琢爾, 岡田 尚也, 藤原 尚志, 金森 淳, 眞柳 修平, 藤田 武郎, 大幸 宏幸, 高齢者に対する食道がん 2 期分割手術の周術期管理, 第 77 回日本臨床外科学会総会 2015. 11
- 森 健策, “医用画像処理と 3D プリンタによる臓器モデル生成と診断治療支援への応用,” 電子情報通信学会 2015 年総合大会プログラム, CS-4-8, p.65 (2015 年総合大会 2015 年 3 月 10 日(火)~13 日(金) 立命館大学 びわこ・くさつキャンパス)
- Masahiro Oda, Takayuki Kitasaka, Kazuhiro Furukawa, Osamu Watanabe, Takafumi Ando, Yoshiaki Hirooka, Hidemi Goto, and Kensaku Mori, “Connection method of separated luminal regions of intestine from CT volumes,” SPIE Medical Imaging 2015, 21 - 26 February 2015 (in print)
- Masahiro Oda, Tetsuro Matsuzaki, Yuichiro Hayashi, Takayuki Kitasaka, Kazunari Misawa, and Kensaku Mori, “Automated branching pattern report generation for laparoscopic surgery assistance,” SPIE Medical Imaging 2015, 21 - 26 February 2015 (in print)
- Yoshihiko Nakamura, Yukitaka Nimura, Takayuki Kitasaka, Shinji Mizuno, Kazuhiro Furukawa, Hidemi Goto, Michitaka Fujiwara, Kazunari Misawa, Masaki Ito, Shigeru Nawano, and Kensaku Mori, “Investigation of Optimal Feature Value Set in False Positive Reduction Process for Automated Abdominal Lymph Node Detection Method,” SPIE Medical Imaging 2015, 21 - 26 February 2015 (in print)
- Kenichi Karasawa, Masahiro Oda, Yuichiro Hayashi, Yukitaka Nimura, Takayuki Kitasaka, Kazunari Misawa, Michitaka Fujiwara, Daniel Rueckert, and Kensaku Mori, “Pancreas segmentation from 3D abdominal CT images using patient-specific weighted-subspatial probabilistic atlases,” SPIE Medical Imaging 2015, 21 - 26 February 2015 (in print)
- Kenichi Karasawa, Masahiro Oda, Yuichiro Hayashi, Yukitaka Nimura, Takayuki Kitasaka, Kazunari Misawa, Michitaka Fujiwara, Kensaku Mori, “Pancreas segmentation from abdominal CT volumetric images using hierarchically-weighted probabilistic atlases,” 2015 Joint Conference of the International Workshop on Advanced Image Technology (IWAIT) and the International Forum on Medical Imaging in Asia (IFMIA), IFMIA Poster Presentation & Display PS.1, 617, (National Cheng Kung University, Tainan, Taiwan, January 11-13, 2015)
- Yukitaka Nimura, Yuichiro Hayashi, Kazunari Misawa, Kensaku Mori, “Automated Organ Segmentation from CT Images using Structure Output Learning,” 2015 Joint Conference of the International Workshop on Advanced Image Technology (IWAIT) and the International Forum on Medical Imaging in Asia (IFMIA), IFMIA Poster Presentation & Display PS.1, 616, (National Cheng Kung University, Tainan, Taiwan, January 11-13, 2015)
- 林 雄一郎, 森田 千尋, ホークス デイビット, 三澤 一成, 森 健策, “腹腔鏡下手術ナビゲーションにおける血管と臓器情報を用いた術中のレジストレーション手法に関する初期検討,” 電子情報通信学会技術研究報告, MI2014-118, Vol.114, No.482, pp.321-325, 石垣島, 2015/03
- 小田 昌宏, 加賀城 充, 山本 徳則, 吉野 能, 森 健策, “反復抽出処理を用いた造影 CT 像からの血管抽出手法の開発,” 電子情報通信学会技術研究報告, MI2014-116, Vol.114, No.482, pp.311-316, 石垣島, 2015/03
- 安藤 正海, 湯浅 哲也, 砂口 尚輝, 森 健策, 鈴木 芳文, 市原 周, Rajiv Gupta, “X線暗視野法光学系を用いた屈折 X 線イメージングによる医用画像工学の創成と多元計算解剖学への展開,” 電子情報通信学会技術研究報告, MI2014-113, Vol.114, No.482, pp.295-300, 石垣島, 2015/03
- 山本 貴洋, 北坂 孝幸, 二村 幸孝, 末永 康仁, 森 健策, “気管支内腔壁面への気管支枝名自動表示手法の開発,” 電子情報通信学会技術研究報告, MI2014-105, Vol.114, No.482, pp.253-258, 石垣島, 2015/03
- 近藤 弘明, 小田 昌宏, 古川 和宏, 宮原 良二, 廣岡 芳樹, 後藤 秀美, 北坂 孝幸, 森 健策, “大腸ひだ検出処理に基づく大腸内視鏡ナビゲーションシステムに関する検討,” 電子情報通信学会技術研究報告, MI2014-102, Vol.114, No.482, pp.237-242, 石垣島, 2015/03



- 古閑 楠人, 林 雄一郎, 廣瀬 友昭, 小田 昌宏, 北坂 孝幸, 伊神 剛, 椰野 正人, 森 健策, "SVM を利用した3次元腹部 CT 像からの胆管領域セグメンテーション手法の開発," 電子情報通信学会技術研究報告, MI2014-100, Vol.114, No.482, pp.227-232, 石垣島, 2015/03
- 林 雅大, 道満 恵介, 目加田 慶人, 三澤 一成, 森 健策, "術中音声操作に基づく手術ナビゲーションにおけるユーザインタフェースの改良," 電子情報通信学会技術研究報告, MI2014-81, Vol.114, No.482, pp.129-132, 石垣島, 2015/03
- 森 健策, "3D 画像処理と 3D プリントによる診断治療支援," 第 7 回 3DPACS 研究会 in 名古屋, 2014 年 12 月 21 日(日)
- 森 健策, "計算解剖モデルに基づく消化器がんの診断治療支援," 第 15 回名古屋消化器疾患研究会, 平成 26 年 12 月 13 日(土)
- 中村亮一, 杉野貴明, 鈴木啓太, 伊藤夏織, Pham Duc Tai, 山本優希, 川平洋, 五十嵐辰男, ナビゲーション外科医療における治療情報の可視化・分析・応用と医工学連携, 電子情報通信学会 2015 年総合大会企画セッション「先端医療機器の薬事承認を効率化するレギュラトリーサイエンスの現状と将来展望」, 草津, 3 月 11 日, 2015(招待講演)
- 川平 洋, 中口俊哉, 森 幹人, 大城 充, 大城崇司, 田中 宏, 吉田 豊, 瓜田 祐, 高木隆一, 鈴木淳一, 北原知晃, 佐藤礼実, 松原久裕, 岡住慎一, 加藤良二, 胃局所切除後 Linear Stapler を用いた再建法による残胃変形についての検討.ポスター発表,第 87 回日本胃癌学会総会, 3 月 5 日,広島県立総合体育館
- Hiroshi Kawahira, Yoshihiro Shimomura, Masaaki Ito, Yuji Nishizawa, Tsunetaro Ito, Koichi Sakaue, Mamoru Mori, (招) Research and development of the assisting devices for laparoscopic surgeons in collaboration with the industries and the National Cancer Center:2015 International Symposium on InfoComm & Media Technology in Bio-Medical & Healthcare Application (Chiba, Japan), Proceedings, p56-7 (2015 年 11 月 17 日)
- 川平 洋, 外科サイボーグへ向けたサージカルアシストスーツ(SAS)の開発 千葉エリア産学官連携オープンフォーラム 2015 (習志野市), 千葉エリア産学官連携オープンフォーラム 2015 講演要旨集, p.21 (2015 年 9 月 11 日)
- 川平 洋, 下村義弘, 伊藤雅昭, 西澤祐吏 外科医の足腰を楽にして手術を精確に下肢保持装置:イノベーション・ジャパン 2015 (東京ビッグサイト, 東京), JP-41B (<https://www1.ij2015.com/ij2015/jp/dispatch.php?lang=jp&exhid=ij1510211>)(2015 年 8 月 27)
- 川平 洋, (招) 人間工学と手術環境 外科医の立場から:日本人間工学会第 56 回大会 (芝浦工大, 東京), 人間工学第 51 巻特別号, p8-9 (2015 年 6 月 13 日)
- Hiroshi Kawahira, Naoyuki Hanari, Hisashi Gunji, Ryoichi Nakamura, Shinichi Okazumi, Hisahiro Matsubara, A novel laparoscopic trainer box of the size same as letter-size: SAGES 2015 (Nashville, TN, USA), SAGES 2015 Surgical Spring Week, p.143 (2015 年 4 月 15-18 日)
- Hiroshi Kawahira, Advanced Photonics in Clinical Medicine and Surgery, Reduce Physical Burden and Improve Clinical Skills for Laparoscopic Surgeons: The 1st Finnish-Japanese Medical Photonics Symposium (Kuopio, Finland) (2015 年 5 月 25 日)
- 加野将之, 羽成直行, 郡司 久, 川平 洋, 横手幸太郎, 徳山宏丈, 北原 綾, 林 秀樹, 松原久裕, 当科における腹腔鏡下袖状切除の成績: 一般演題 7 手術成績, 第 33 回日本肥満症治療学会学術集会 (千葉市), 第 33 回日本肥満症治療学会学術集会プログラム・抄録集, p127 (2015 年 6 月 27 日)
- 大平 猛, Revolusional characteristics of newly developed micro-nano-bubble water The efficiency of micro-nano-bubble water in medical scene,engineering factory and agriculture secto, The Asia-Pacific Undersea and Hyperbaric Medical Society 2nd Biennial Scientific Meeting 2015 Post Congress Seminar in Nakatsu 11 月 16 日、大分県中津市
- 黒川幸典, 瀧口修司, 宮崎安弘, 高橋剛, 山崎誠, 宮田博志, 中島清一, 森正樹, 土岐祐一郎 SY-13-1 食道胃接合部癌に対する腹腔鏡下リンパ節郭清手技: 下縦隔・大動脈周囲リンパ節郭清 名古屋 4/17 日本外科学会定期学術集会
- 宮田博志, 山崎誠, 宮崎安弘, 高橋剛, 黒川幸典, 中島清一, 瀧口修司, 森正樹, 土岐祐一郎 OP-125-7 当科での左側臥位胸腔鏡下食道切除の定型化と治療成績向上に向けた取り組み 名古屋 4/17 日本外科学会定期学術集会
- 大澤日出樹, 水島恒和, 中島清一, 井上彬, 北原知洋, 三代雅明, 空谷友香子, 上田正射, 植村守, 西村潤一, 畑泰司, 竹政伊知朗, 山本浩文, 土岐祐一郎, 森正樹 OP-182-7 瘻孔及び膿瘍を合併したクローン病に対する腹腔鏡下手術と開腹手術の比較検討 名古屋 4/17 日本外科学会定期学術集会

- 東重慶、宮崎安弘、高橋剛、黒川幸典、山崎誠、宮田博志、瀧口修司、森正樹、土岐祐一郎、中島清一 OP-254-5 Surgical Smoke の安全性の検討 名古屋 4/18 日本外科学会定期学術集会
- Kiyokazu Nakajima Sp400 Surgeon's Eyes Washington D.C. 5/17 DDW
- 東重慶、中島清一、宮崎安弘、牧野知紀、高橋剛、黒川幸典、山崎誠、瀧口修司、森正樹、土岐祐一郎、藤田紀子、加藤貴充、南正人 122.腹腔鏡手術における鉗子の使用頻度：器具ホルダーの開発へ向けた実測 横浜 5/30 日本医療機器学会大会
- 加藤貴充、石川慶、西山侑花、吉田靖、高階雅紀、南正人、五反田正一、東重慶、中島清一 123.排煙環境下で使用する気腹装置の性能評価 横浜 5/30 日本 医療機器学会大会
- 広田将司、中島清一、高橋剛、黒川幸典、宮崎安弘、宮田博志、瀧口修司、西田俊朗、森正樹、土岐祐一郎 O104-2 "Delle"を伴う胃 GIST:臨床病理学的意義とその手術成績 名古屋 5/30 日本消化器内視鏡学会
- 中島清一 W02-10 定圧自動送気内視鏡 SPACE の実現へ向けた周辺機器の研究開発 名古屋 5/31 日本消化器内視鏡学会
- 東重慶、中島清一、宮崎安弘、牧野知紀、高橋剛、黒川幸典、山崎誠、瀧口修司、森正樹、土岐祐一郎 P93-3 食道裂孔ヘルニア合併アカラシアに対する腹腔鏡下手術 11 例の検討 横浜 7/3 日本食道学会学術集会
- 山崎誠、中島清一、牧野知紀、宮崎安弘、高橋剛、黒川幸典、瀧口修司、森正樹、土岐祐一郎 W2-1 食道癌術後胃食道逆流に対する新規治療法の開発 横浜 7/3 日本食道学会学術集会
- 瀧口修司、宮崎安弘、高橋剛、黒川幸典、和田範子、牧野知紀、山崎誠、中島清一、森正樹、土岐祐一郎 PD-1 PD1：進行胃癌に対する腹腔鏡手術導入の是非 浜松 7/15 日本消化器外科学会総会
- 東重慶、中島清一、宮崎安弘、高橋剛、黒川幸典、山崎誠、宮田博志、瀧口修司、森正樹、土岐祐一郎 P-32-4 食道裂孔ヘルニア合併アカラシアに対する腹腔鏡下手術 10 例の検討 浜松 7/15 日本消化器外科学会総会
- 瀧口修司、宮崎安弘、牧野知紀、高橋剛、黒川幸典、山崎誠、宮田博志、中島清一、森正樹、土岐祐一郎 SY-13-5 進行接合部がんに対する腹腔鏡下傍リンパ節郭清(16a2lat) 浜松 7/16 日本消化器外科学会総会
- 中塚梨絵、高橋剛、宮崎安弘、黒川幸典、山崎誠、宮田博志、瀧口修司、森正樹、土岐祐一郎、中島清一 P-112-1 腸管虚血に対する共焦点内視顕微鏡を用いた術中血流評価の試み 浜松 7/16 日本消化器外科学会総会
- 水島恒和、中島清一、山本浩文、竹政伊知朗、畑泰司1、西村潤一、植村守、土岐祐一郎、森正樹 O-61-2 潰瘍性大腸炎に対する至適腹腔鏡手術術式に関する検討 浜松 7/17 日本消化器外科学会総会
- 柳本喜智、瀧口修司、宮崎安弘、高橋剛、黒川幸典、山崎誠、宮田博志、中島清一、森正樹、土岐祐一郎 P-171-2 腹腔鏡下幽門側胃切除 Billroth-I 再建術における吻合法による消化管機能の比較試験-Delta vs Circular-浜松 7/17 日本消化器外科学会総会
- 高橋剛、中島清一、宮崎安弘、牧野知紀、黒川幸典、山崎誠、瀧口修司、森正樹、土岐祐一郎胃 GIST に対する腹腔鏡下手術における多孔式アプローチと単孔式アプローチの比較 秋田 7/31 Reduced Port Surgery Forum 2015 in Akita
- 中島清一、砂川宏樹 WS1 飛躍：新しい手術手技(II) 秋田 8/1 Reduced Port Surgery Forum 2015 in Akita
- 東重慶、宮崎安弘、牧野知紀、高橋剛、黒川幸典、山崎誠、瀧口修司、森正樹、土岐祐一郎、中島清一 単孔式腹腔鏡下手術における Surgical Smoke の効率的な排煙方法の研究 秋田 8/1 Reduced Port Surgery Forum 2015 in Akita
- 中島清一、武田祐 WS1-2 エネルギーデバイスを使いこなす～電気メス vs 超音波メス～和歌山 9/12 近畿内視鏡外科研究会
- 東重慶、宮崎安弘、高橋剛、中島清一 W2-9 SPACE(Steady Pressure Automatically Controlled Endoscopy) における安全機構の必要性についての検討 大阪 9/25 日本消化器病学会近畿支部
- 金村 剛志、中島清一、宮崎 安弘、牧野 知紀、高橋 剛、黒川 幸典、山崎 誠、瀧口 修司、森 正樹、土岐 祐一郎 外 P-18 腹腔鏡下胃切除と噴門形成術の同時施行時における当院での工夫 東京 10/9 日本消化器外科学会大会
- 柳本 喜智、瀧口 修司、宮崎 安弘、高橋 剛、黒川 幸典、牧野 知紀、山崎 誠、中島清一、森 正樹、土岐 祐一郎 外 P-26 ロボット支援下胃切除術の安全性と技術的優位性の検討 東京 10/9 日本消化器外科学会大会
- 福田 周一、中島清一、高橋 剛、黒川 幸典、宮崎 安弘、牧野 知紀、山崎 誠、瀧口 修司、西田 俊朗、森 正樹、土岐 祐一郎 外 P-64 Delle を伴う胃原発間質系腫瘍の臨床病理学的特徴と治療成績 東京 10/9 日本消化器外科学会大会
- 中島清一 胃一鏡視下手術(悪性) 4 東京10/9 日本消化器外科学会大会
- 中島清一 機器開発、LEXS、GERD 治療など 品川 10/10 J-CASE(NOTES)研究会

- 東重慶、宮崎安弘、保坂誠、伴菜美子、牧野知紀、高橋剛、黒川幸典、山崎誠、瀧口修司、森正樹、土岐祐一郎、中島清一 6-1.軟性内視鏡用洗浄吸引カテーテル(エンドシャワー)上市後改良:医療機器開発の現場から 品川 10/10 J-CASE(NOTES)研究会
- 東重慶、中島清一、中川 朋2、遠藤 俊治2、宮崎 安弘、牧野 知紀、高橋 剛、黒川 幸典、山崎 誠、瀧口 修司、森 正樹、土岐 祐一郎 外 P-576 食道裂孔ヘルニア合併アカラシアに対する腹腔鏡下手術 11 例の検討 東京 10/10 日本消化器外科学会大会
- 高橋 剛、中塚 梨絵、原 尚志、東 重慶、宮崎 安弘、牧野 知紀、黒川 幸典、山崎 誠、瀧口 修司、森 正樹、土岐 祐一郎、中島清一 外 P-720 共焦点顕微内視鏡検査を用いた腸管血流評価の検討 東京 10/10 日本消化器外科学会大会
- 中村亮一、術中画像・情報処理に基づく低侵襲外科治療の可視化と最適化、第3回テニユアトラック教員による創発型シンポジウム・分野融合研究への展望、名古屋、2015年11月20日(招待講演)
- 中村亮一、術中情報計測・処理による手術工程分析とロボット制御、川崎市産業振興財団平成27年度第1回医工連携研究会、神奈川、2015年10月19日(招待講演)
- 中村亮一、医療機器産業参入のための最初の一步～医療機器開発ガイドラインとリスクマネージメント～、川崎市産業振興財団平成27年度第1回医工連携研究会、神奈川、2015年10月19日(招待講演)
- 中村亮一、低侵襲手術とトレーニングを最適化するデジタル手術評価ソリューション、千葉エリア産学官連携オープンフォーラム2015、千葉、2015年9月11日(指定講演)
- Tomoko Yamaguchi, Takaaki Sugino, Hiroshi Kawahira, Proposal and evaluation of surgical process analysis based on left handwork information in laparoscopic surgery using surgical navigation system, The 11th Asian Conference on Computer Aided Surgery, 9-11 July, 2015, ID15
- T. Sugino, H. Kawahira, R. Nakamura, Surgical task evaluation by an operational region analysis during laparoscopic cholecystectomy using navigation system information, The 29th International Congress on Computer Assisted Radiology and Surgery (CARS2015), Barcelona, Spain, June 24-27, 2015, International Journal of Computer Assisted Radiology and Surgery, 10(suppl):S115-6, June 2015
- 中村亮一、杉野貴明、川平洋、伊藤夏織、鈴木啓太、五十嵐辰男、術中画像情報処理に基づく外科治療の可視化と最適化、第54回生体医工学学会大会 オーガナイズドセッション15「生体医用画像工学の新潮流」、名古屋、5月8日、2015(指定講演)
- Toshikazu Kawai, Yusuke Sasaki, Yusuke Morita, Naoki Yamamoto, Masao Fujiwara, Yasuyuki Suzuki: Sensing Elasticity using Step-out Vibration of Stepper Motor, the 37th Annual International Conference of the IEEE Engineering in Medicine and Biology Society (EMBC'15), SaBPoT5.29, Milano, ITALIA, August 25-29 (2015).
- Toshikazu Kawai, Toshinobu Matsumoto, Yuki Horise, Atsushi Nishikawa, Yuji Nishizawa, Tatsuo Nakamura: Flexible Locally Operated End-Effector Manipulator With Actuator Interchangeability For Single-Incision Laparoscopic Surgery, the 29th International Congress and Exhibition of Computer Assisted Radiology and Surgery (CARS 2015), Int J CARS Computer Assist Radiol Surg, Vol.10, Suppl 1, pp.246-247, Barcelona, Spain, June 24-27 (2015).
- 西川敦、河合俊和、堀瀬友貴、正宗賢：内視鏡手術支援ロボットデバイス—ローカル・小型・分散化への転換と検証・評価サイクル加速化に向けて—、第28回日本内視鏡外科学会総会(JSES2015), SY21-5, 大阪国際会議場(大阪市), 12/12 (2015).
- 林浩之、河合俊和、西川敦、西澤祐吏、中村達雄：伸縮可能な極座標系3軸小型マニピュレータにおけるケーブルロッド駆動系の開発、第16回計測自動制御学会 システムインテグレーション部門講演会(SI2015), 2B2-4, 名古屋国際会議場(名古屋市), 12/15 (2015).
- 河合俊和、松本俊宣、西川敦、西澤祐吏、中村達雄：ローカル操作方式マルチアングルマニピュレータの駆動ユニット、日本コンピュータ外科学(JSCAS2015), Vol.17, No.3, pp.281-282, 東京大学(東京都文京区), 11/23 (2015).
- Toshikazu Kawai, Toshinobu Matsumoto, Atsushi Nishikawa, Yuji Nishizawa, Tatsuo Nakamura: Locally operated multi-angle manipulator for single-port laparoscopy, 生体医工学シンポジウム2015, 2P-20, 岡山国際交流センター(岡山市北区), 9/26 (2015) .
- 林浩之、河合俊和、西川敦、西澤祐吏、中村達雄：直線および円環方向の伸縮機構を有する3軸小型マニピュレータの開発、第27回ロボティクス・メカトロニクス講演会(ROBOMECH2015), 1A1-E07, 京都市観業館(京都市), 5/18 (2015).
- 島岡稜、河合俊和、西川敦、西澤祐吏、伊藤雅昭、中村達雄：バックドライバビリティを考慮したクランクスライダ式マニピュレータの開発、第27回ロボティクス・メカトロニクス講演会(ROBOMECH2015), 1A1-E02, 京都市観業館(京都市), 5/18 (2015).
- 河合俊和、友兼賢大、西川敦、西澤祐吏、中村達雄：ローカル操作型鉗子マニピュレータの手元スイッチ型5自

由度インタフェースの開発, 第 54 回日本生体医工学会大会(JSMBE54), P2-2-5-D, p.204, 名古屋国際会議場(名古屋市), 5/8 (2015).

- ・西田保則, 加藤祐一郎, 後藤田直人, 高橋進一郎, 小西 大. 膵頭十二指腸切除における Fast track surgery と周術期サルコペニア. 第 115 回日本外科学会学術集会 2015 年 4 月 16 日-18 日, 名古屋
- ・加藤祐一郎, 高橋進一郎, 後藤田直人, 木下敬弘, 芝崎英仁, 北口和彦, 中山雄介, 岡田 嶺, 高橋大五郎, 大久保悟志, 小西 大. 当院における肝外胆管癌治療成績の変遷. 第 115 回日本外科学会学術集会 2015 年 4 月 16 日-18 日, 名古屋
- ・大久保悟志, 後藤田直人, 西田保則, 中山雄介, 北口和彦, 加藤祐一郎, 高橋進一郎, 小西 大. 肝細胞癌リンパ節転移症例における外科的切除の検討. 第 115 回日本外科学会学術集会 2015 年 4 月 16 日-18 日, 名古屋
- ・高橋進一郎, 小西 大, 後藤田直人, 加藤祐一郎, 池田公史, 小林達伺, 秋元哲夫. Borderline resectable 膵癌に対する S-1 併用放射線療法後切除: R0 切除を目指した SMA 周囲リンパ節・神経叢郭清. 第 115 回日本外科学会学術集会 2015 年 4 月 16 日-18 日, 名古屋
- ・中山雄介, 高橋進一郎, 加藤祐一郎, 後藤田直人, 小西 大. 当院における残膵癌切除 10 症例の検討. 第 115 回日本外科学会学術集会 2015 年 4 月 16 日-18 日, 名古屋
- ・高橋大五郎, 高橋進一郎, 大久保悟志, 岡田 嶺, 中山雄介, 西田保則, 北口和彦, 加藤祐一郎, 後藤田直人, 小西 大. 膵頭部癌に対する膵頭十二指腸切除術における切除断端の評価の検討. 第 115 回日本外科学会学術集会 2015 年 4 月 16 日-18 日, 名古屋
- ・加藤祐一郎, 高橋進一郎, 後藤田直人, 北口和彦, 西田保則, 中山雄介, 岡田 嶺, 高橋大五郎, 大久保悟志, 小西 大. 膵 IPMN の治療方針-非 High risk stigmata 症例群を中心に-. 第 27 回日本肝胆膵外科学会学術集会 2015 年 6 月 11 日-13 日, 台場
- ・後藤田直人, 高橋進一郎, 加藤祐一郎, 北口和彦, 中山雄介, 西田保則, 高橋大五郎, 大久保悟志, 小西 大. 予後因子解析から見た肝内胆管癌手術適応についての検討. 第 27 回日本肝胆膵外科学会学術集会 2015 年 6 月 11 日-13 日, 台場
- ・高橋進一郎, 門田一晃, 小西 大, 後藤田直人, 加藤祐一郎. 胆道再建を要する拡大肝葉切除における術前免疫栄養の検討. 第 27 回日本肝胆膵外科学会学術集会 2015 年 6 月 11 日-13 日, 台場
- ・西田保則, 加藤祐一郎, 大久保悟志, 高橋大五郎, 中山雄介, 北口和彦, 後藤田直人, 高橋進一郎, 小西 大. 膵頭十二指腸切除における術前胆道ドレナージ法の検討. 第 27 回日本肝胆膵外科学会学術集会 2015 年 6 月 11 日-13 日, 台場
- ・中山雄介, 小西 大, 大久保悟志, 高橋大五郎, 岡田 嶺, 西田保則, 北口和彦, 加藤祐一郎, 後藤田直人, 高橋進一郎. 膵温存十二指腸切除術と膵頭十二指腸切除術の術後早期・晩期合併症の比較. 第 27 回日本肝胆膵外科学会学術集会 2015 年 6 月 11 日-13 日, 台場
- ・北口和彦, 後藤田直人, 大久保悟志, 高橋大五郎, 岡田 嶺, 中山雄介, 西田保則, 加藤祐一郎, 高橋進一郎, 小西 大. 膵頭十二指腸切除術後 SSI 対策における予防的抗菌薬投与期間短縮の影響. 第 27 回日本肝胆膵外科学会学術集会 2015 年 6 月 11 日-13 日, 台場
- ・大久保悟志, 後藤田直人, 高橋大五郎, 西田保則, 岡田 嶺, 中山雄介, 北口和彦, 加藤祐一郎, 高橋進一郎, 小西 大. 膵頭十二指腸切除術後ドレーン排液中の細菌培養検査の有用性についての検討. 第 27 回日本肝胆膵外科学会学術集会 2015 年 6 月 11 日-13 日, 台場
- ・大久保悟志, 加藤祐一郎, 高橋大五郎, 中山雄介, 西田保則, 岡田 嶺, 北口和彦, 後藤田直人, 高橋進一郎, 小西 大. 膵頭十二指腸切除術後の膵腸吻合に伴う合併症の検討. 第 46 回日本膵臓学会大会 2015 年 6 月 19 日-20 日, 名古屋
- ・加藤祐一郎, 高橋進一郎, 北口和彦, 中山雄介, 大久保悟志, 小西 大. IPMN の術後経過観察法に関する検討. 第 46 回日本膵臓学会大会 2015 年 6 月 19 日-20 日, 名古屋
- ・高橋進一郎, 小西 大, 後藤田直人, 加藤祐一郎. 浸潤性膵管癌患者における年齢と術後予後の相関. 第 46 回日本膵臓学会大会 2015 年 6 月 19 日-20 日, 名古屋
- ・北口和彦, 高橋進一郎, 加藤祐一郎, 後藤田直人, 小西 大. Hepatomesenteric type の上腸間膜動脈起始部閉塞を伴う膵頭部癌の一切除例. 第 46 回日本膵臓学会大会 2015 年 6 月 19 日-20 日, 名古屋
- ・高橋進一郎, 小西 大, 後藤田直人, 加藤祐一郎, 池田公史. Borderline resectable 膵癌に対する術前 S-1 併用放射線療法: 動脈系 BR と門脈系 BR の比較. 第 70 回日本消化器外科学会総会 2015 年 7 月 15 日-17 日, 浜松
- ・加藤祐一郎, 大久保悟志, 高橋大五郎, 岡田 嶺, 中山雄介, 西田保則, 後藤田直人, 高橋進一郎, 小西 大. 胆管癌治療における術後 CA19-9 値正常化の意義. 第 70 回日本消化器外科学会総会 2015 年 7 月 15 日-17 日, 浜松
- ・西田保則, 加藤祐一郎, 大久保悟志, 高橋大五郎, 岡田 嶺, 中山雄介, 北口和彦, 後藤田直人, 高橋進一郎, 小西 大. 膵癌術後の短期, 長期成績における骨格筋量評価の意義. 第 70 回日本消化器外科学会総会 2015 年 7

月 15 日-17 日, 浜松

- ・ 後藤田直人, 高橋進一郎, 加藤祐一郎, 北口和彦, 中山雄介, 西田保則, 岡田 嶺, 高橋大五郎, 大久保悟志, 小西 大. 末梢型肝内胆管癌切除後再発形式からみたリンパ節転移についての検討. 第 70 回日本消化器外科学会総会 2015 年 7 月 15 日-17 日, 浜松
- ・ 岡田 嶺, 後藤田直人, 大久保悟志, 高橋大五郎, 中山雄介, 西田保則, 北口和彦, 加藤祐一郎, 高橋進一郎, 小西 大. 腹腔鏡下膵体尾部切除術の開腹下手術との比較検討. 第 70 回日本消化器外科学会総会 2015 年 7 月 15 日-17 日, 浜松
- ・ 北口和彦, 後藤田直人, 大久保悟志, 高橋大五郎, 岡田 嶺, 中山雄介, 西田保則, 加藤祐一郎, 高橋進一郎, 小西 大. 膵体尾部切除における膵切離法の検討. 第 70 回日本消化器外科学会総会 2015 年 7 月 15 日-17 日, 浜松
- ・ 中山雄介, 小西 大, 大久保悟志, 高橋大五郎, 岡田 嶺, 西田保則, 北口和彦, 加藤祐一郎, 後藤田直人, 高橋進一郎. 当院における十二指腸領域腫瘍に対する膵温存十二指腸切除術 (Pancreas-Sparing Duodenectomy: PSD) の成績. 第 70 回日本消化器外科学会総会 2015 年 7 月 15 日-17 日, 浜松
- ・ 西田保則, 小西 大, 加藤祐一郎, 後藤田直人, 高橋進一郎, 小嶋基寛, 小林達伺. 特異な進展様式を示した肝門部領域胆管癌の 1 例. 第 63 回日本消化器画像診断研究会 2015 年 9 月 11 日-12 日, 鎌倉
- ・ 大久保悟志, 加藤祐一郎, 高橋大五郎, 中山雄介, 西田保則, 北口和彦, 後藤田直人, 高橋進一郎, 小西 大. 乳頭部癌治療における予後予測因子としての Prognostic nutritional index (PNI) の意義. 第 51 回日本胆道学会学術集会 2015 年 9 月 17 日-19 日, 宇都宮
- ・ 後藤田直人, 高橋進一郎, 加藤祐一郎, 北口和彦, 西田保則, 中山雄介, 高橋大五郎, 大久保悟志, 小西 大. 巨大進行肝細胞癌に対する外科的治療成績の検討. 第 23 回日本消化器関連学会週間 (第 13 回日本消化器外科学会大会) 2015 年 10 月 8 日-11 日, 品川
- ・ 高橋進一郎, 小西 大, 後藤田直人, 加藤祐一郎, 池田公史. 膵癌術後補助化学療法の実況: 施行割合、成績、治療を妨げる原因について. 第 53 回日本癌治療学会学術集会 2015 年 10 月 29 日-31 日, 京都
- ・ 加藤祐一郎, 高橋進一郎, 後藤田直人, 北口和彦, 西田保則, 中山雄介, 高橋大五郎, 大久保悟志, 小西 大. 胆嚢癌における予後予測因子としての血清 CRP 値の有用性. 第 53 回日本癌治療学会学術集会 2015 年 10 月 29 日-31 日, 京都
- ・ T. Ando , H. Kiyomatsu , E. Kobayashi, I. Sakuma, In vivo evaluation of a new tool tracking system for laparoscopic surgery based on inertial sensor, Annual conference on Computer Aided Surgery and Radiology 2015, 2015/6/23-28, スペイン、バルセロナ
- ・ 藤田 武郎、堀切 康正、佐藤 琢爾、岡田 尚也、藤原 尚志、真柳 修平、金森 淳、大幸 宏幸 食道がん術後の地域連携の推進: 食道がん術後患者教室の運営と術後リハビリ地域連携パスの立ち上げ 第 31 回日本静脈経腸栄養学会学術集会、2016/2/25-26、福岡
- ・ 大平 猛、山崎時久、人体内病変部位の同定装置についての検討 (株)アドバンスド・デジタル・テクノロジー案件) ふくおか医療福祉関連機器開発・実証ネットワーク 医工連携モデル事業 地方部会 2016/3/4 福岡市 (福岡国際会議場)
- ・ 大平 猛、山崎時久、徘徊老人の防止システム成果報告 平成 27 年度 医療福祉・社会システム分野対応型ロボット・システム関連製品開発支援事業 地方部会 2016/ 3/18 福岡市 (九州大学 先端医療イノベーションセンター)
- ・ Takahiro Kinoshita Laparoscopic lymph node dissection of the splenic hilum for advanced gastric cancer 11th China-Japan-Korea Laparoscopic Gastrectomy Joint Seminar、2016/3/5、上海
- ・ 木下敬弘 腹腔鏡下胃切除術の技術認定取得のコツ 第 88 回日本胃癌学会、2016/3/17-19、別府
- ・ 渡邊将広、木下敬弘、芝崎秀儒、海藤章郎、浜川卓也、西田俊朗 術後短長期成績から見た 80 歳以上高齢進行胃がん患者の至適術式 第 88 回日本胃癌学会、2016/3/17-19、別府
- ・ 松木淳、本多通孝、比企直樹、木下敬弘、藪崎裕、阿部貴行、布部創也、芝崎秀儒、會澤雅樹、渡邊将広 幽門保存胃切除術の栄養学的長期予後 第 88 回日本胃癌学会、2016/3/17-19、別府
- ・ 高田暢夫、木下敬弘、砂川秀樹、浜川卓也、海藤章郎、芝崎秀儒、西田俊朗 進行胃癌に対する審査腹腔鏡の有用性 第 88 回日本胃癌学会、2016/3/17-19、別府
- ・ 浜川卓也、木下敬弘、砂川秀樹、高田暢夫、海藤章郎、芝崎秀儒、西田俊朗 (VP)合併症ゼロを目指した腹腔鏡下胃全摘後再建～食道空腸 overlap 吻合法～ 第 88 回日本胃癌学会、2016/3/17-19、別府
- ・ 海藤章郎、木下敬弘、芝崎秀儒、浜川卓也、砂川秀樹、高田暢夫、西田俊朗 合併症ゼロを目指した腹腔鏡下胃全摘後再建～食道空腸 overlap 吻合法～ 第 88 回日本胃癌学会、2016/3/17-19、別府

- ・ 芝崎秀儒、木下敬弘、海藤章郎、浜川卓也、砂川秀樹、高田暢夫、西田俊朗 腹腔鏡下幽門側胃切除術におけるデルタ吻合による体腔内 B-1 再建手技と注意点 第 88 回日本胃癌学会、2016/3/17-19、別府

(書籍)

- ・ 大平猛(2014)「医療分野におけるマイクロ・ナノバブル水の応用」『微細気泡の最新技術』Vol. 2
- ・ 川平 洋, 林 秀樹, 松原久裕 . LECS イラストと写真で見る内視鏡医と外科医のコラボレーション手術. 分担執筆. LECS 概論. I. Classical LECS. 胃体部での LECS (外科) .メジカルビュー社.腹腔鏡内視鏡合同手術研究会. 2015 年 3 月 27 日刊行. ISBN978-4-7583-1518-0.
- ・ 中村亮一, 杉野貴明, 伊藤夏織, 川平洋, 五十嵐辰男, 手術ナビゲーションによる解剖と手技の可視化, メディカル&イメージング No.2, オプトロニクス社, 東京, p36-42, 2015

(知的財産権)

- ・ 大平猛、特願 2014-204169 鏡視下手術切除物排出デバイス
- ・ 大平猛、特願 2014-202798 剥離機能を備えた洗浄液供給装置
- ・ 大平猛、特開 2014-188121 神経伝導路刺激装置
- ・ 大平猛、遠入伸太郎、河野伸幸、特開 2014-161497 超低侵襲手術システム
- ・ 大平猛、特開 2014-108345 パンクチャーニードル鉗子
- ・ 大平猛、鈴木庸介、特開 2014-108344 外科手術用鉗子
- ・ 大平猛、特開 2014-039786 精密切開装置
- ・ 大平猛、国際公開(PCT) WO14021165A1 液体供給装置及び生体洗浄装置
- ・ 大平猛、国際公開(PCT) WO14021165A1 洗浄液、及び洗浄方法
- ・ 大平猛、(株)ファインテック 2015-199433 H27 年 10 月 7 日 精密切開装置
- ・ 九州大学 2015-045508 医療用処置具および医療用処置装置 H27 年 3 月 9 日
- ・ 川平洋 特願 2015-009555 平成 27 年 1 月 21 日 (出願日) 腹腔鏡及び腹腔鏡手術システム
- ・ 川平洋 立位姿勢補助具 意願 2015-019485 平成 27 年 9 月 2 日
- ・ 大阪大学 扶桑薬品工業(株) US 特許 14/655,364 2015/6/25 HEMOSTATIC AGENT APPLICATOR
- ・ 大阪大学 扶桑薬品工業(株) EP 特許 13867032.8 2015/6/29 HEMOSTATIC AGENT APPLICATOR
- ・ 大阪大学 扶桑薬品工業(株) JP 特許 2014-554251 2015/6/25 止血剤アプリケータ
- ・ 大阪大学 富士フイルム(株) US 特許 14/720,993 2015/5/26 INSUFFLATION SYSTEM
- ・ 大阪大学 富士フイルム(株) EP 特許 13858973.4 2015/5/27 INSUFFLATION SYSTEM
- ・ 大阪大学 富士フイルム(株) CN 特許 201380061526.4 2015/5/26 INSUFFLATION SYSTEM
- ・ 大阪大学 富士フイルム(株) JP 特許 2014-550189 2015/5/22 送気システム
- ・ 大阪大学 富士フイルム(株) US 特許 14/682,117 2015/4/9 INSUFFLATION SYSTEM AND INSUFFLATION APPARATUS
- ・ 大阪大学 富士フイルム(株)CN 特許 201510163103.4 2015/4/8 INSUFFLATION SYSTEM AND INSUFFLATION APPARATUS
- ・ 大阪大学 富士フイルム(株) EP 特許 15162631.4 2015/4/7 INSUFFLATION SYSTEM AND INSUFFLATION APPARATUS
- ・ 大阪大学 富士フイルム(株) US 特許 14/682,116 2015/4/9 INSUFFLATION SYSTEM AND INSUFFLATION APPARATUS
- ・ 大阪大学 大衛(株) トクセン工業(株) JP 特許 2015-185721 2015/9/18 滅菌ガウン
- ・ 大阪大学 大衛(株) トクセン工業(株) JP 意匠 2015-020865 2015/9/18 医療用ガウン
- ・ 大阪大学 大衛(株) JP 意匠 2015-020866 2015/9/18 医療用ガウン
- ・ 大阪大学 大衛(株) トクセン工業(株) CN 意匠 201530362941.5 2015/9/18 医療用ガウン
- ・ 大阪大学 大衛(株) CN 意匠 201530362715.7 2015/9/18 医療用ガウン